

公益財団法人熊本県スポーツ協会

スポーツ KUMAMOTO

No.123

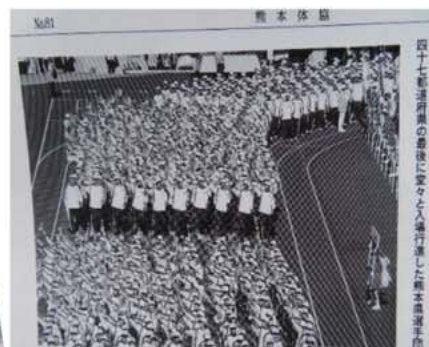
2020.11



熊本県スポーツ協会へ

熊本県体育協会は

名称変更し新たな歴史を刻む...



スポーツク



この会報誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。

〒861-8012

熊本県熊本市東区平山町 2776 県民総合運動公園陸上競技場内

TEL:096-388-1581 FAX:096-388-1584

E-MAIL:main@kumamoto-sports.or.jp

URL: http://kumamoto-sports.or.jp



本会は、令和2年4月1日から

『公益財団法人熊本県スポーツ協会』へ名称を変更しました。

本会は、昭和21年4月の設立以来、加盟団体及び多くの関係者の深い御理解と御支援をいただきながら、本県のスポーツ振興をリーダー的な立場で担ってまいりました。

また、昭和47年4月に財団法人許可並びに平成24年4月から公益財団法人として新たなスタートをしております。

この度、更なる本県スポーツ界の発展を期し、本会が本県スポーツの統一組織として、「スポーツ」という文化を後世に継承していく使命を果たすために、本会の総意として、これまで使用してきた「公益財団法人熊本県体育協会」の名称を「公益財団法人熊本県スポーツ協会」に改称し、改めて力強く歩みを進めていくことになりました。

○新名称 公益財団法人熊本県スポーツ協会

英文表記: Kumamoto Sport Association

* 複数形の「Sports」は競技や種目の集合体を表現する際に用いられる場合が一般的であるため、本会の名称に採用するスポーツは、本会の趣意に基づき人類共通の文化としてのスポーツを意味する単数形の「Sport」を用いることとする。

○変更時期 令和2年4月1日

会報誌をリニューアルしました

本会の名称変更を機に、今号から本会報誌を「熊本県体育協会」から「スポーツKUMAMOTO」にリニューアルしました。今後も会報誌の内容を読みやすくするとともに、本会の活動や県内のスポーツに関する情報を分かりやすくお届けできるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

免税募金のお願い

公益財団法人熊本県スポーツ協会は、県民の皆様にも多大な御理解と御支援をいただきながら、スポーツの振興が社会の健全な発展に寄与するとの理念のもと、「本県のスポーツを振興し、県民の体力向上を図り、スポーツ精神を涵養し、もって県民の心身の健全な発達に寄与する」ことを目的に協会活動を続けております。

現在では72加盟団体（20都市体育・スポーツ協会、49競技団体、3学校教育団体）と協働のもと、本県のスポーツを統括する団体として、「スポーツが持つ限りない力を最大限に生かし、明るく豊かで健康的な活力ある熊本づくり」を目指しております。

また、本会は昭和21年の創立以来、昭和47年4月に財団法人許可、平成24年4月から公益財団法人として公共の福祉に資する活動を行っており、この度、本年4月1日から更なる本県スポーツ界の発展を期し、本会が本県スポーツの統一組織として、「スポーツ」という文化を後世に継承していく使命を果たすため、「公益財団法人熊本県スポーツ協会」として新たなスタートをしたところでございます。

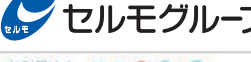
本会は、各種スポーツ振興事業を通して、県民に夢や希望を与えることができるトップアスリートを養成し、熊本の競技力を全国に発信するとともに、更なるスポーツ文化の向上とスポーツの社会的な貢献を果たすため、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツができる環境を整備し、「競技力の向上」「地域スポーツの振興」「青少年の健全育成」に努めて参ります。

本会の活動につきましては、これまで熊本県の多大な財政援助のもとに成り立っており、御承知のとおり、本県の財政状況を考慮すると、多くを望めぬ現実にも直面しています。そのため本会では、加盟団体と協力して自助努力を行う一方、県民の皆様にも広く呼びかけ、寄附金を仰ぐことといたしました。令和元年度は、各方面から多大な御理解をいただき、多くの寄附金をいただくことができました。誠にありがとうございました。

経済状況が厳しい中に、このようなお願いを申し上げるのは、誠に恐縮ではございますが、何卒趣旨を御理解いただき、更なる御協力を賜りますようお願い申し上げます。

※免税措置等についてのお問い合わせ 担当：松本

令和元年度 免税募金協賛企業・団体・個人

 肥後銀行 うるおいある未来のために。	 きょうをアツく あしたをマルに (株)あつまるHD	 上質な暮らしを提案する郷土のデパート。 Tsuruya
 熊本日日新聞	 九電グループ ずっと先まで、明るくしたい。	熊本県遊技業協同組合
 株式会社ヒライ	 シアーズホームグループ	 株式会社サンワード
 崇城大学	 シブフルホーム アイランドグループ	 一般社団法人 未来と環境をつくる/ 熊本県建設業協会
 えがお	 OMRON オムロンリレーアンドデバイス株式会社	 熊本国際空港 Kumamoto International Airport Co., Ltd.
 熊本銀行	 RKK熊本放送	 TKU テレビくまもと
 株式会社前田産業	 熊本酸素株式会社	 再春館製薬所
 Hayakawa Sports	 桜井精技株式会社 SAKURAI SEI GI Co., Ltd.	 千里殖産株式会社
 熊本県信用金庫協会	 人、街、地球を快適に。 西部ガス	 キューネット
 熊本県薬剤師会 Kumamoto Pharmaceutical Association	 九州警備	 公益社団法人 熊本県医師会
 有明測量開発社	 熊本交通運輸株式会社 KUMAMOTO ROUTE TRANSPORTATION CO., LTD.	 熊本整形外科病院 Kumamoto Orthopaedic Hospital
 kkt!	 KAB熊本朝日放送	 熊日輸送センター
 株式会社RKKコンピュータサービス	 セルモグループ	 株式会社ハウディ
 株式会社中九州クボタ	 熊本県スポーツ振興事業団	 TEAM
 Raymay Fujii RF	 体育堂 TAIKU DO / since 1944	 熊本県電気工事業工業組合

肥後銀行従業員組合
(株)九建ホーム
あつまるレクカントリークラブ
熊本日産自動車(株)
(一財)熊本公徳会
(株)大豊
(株)エフエム熊本
(株)熊本ホテルキャッスル
(株)肥後コンピュータサービス
肥後ビジネス教育(株)
熊日都市圏販売(株)
宝興業(株)
熊本県経済農業協同組合連合会
(有)松屋本館
(株)カリノファシリティーズ
佐藤企業株
宮川輝之法律事務所
(株)奥羽興産
川原胃腸科内科
(有)おおがスイングスクール
(株)荒木板金工場
(株)コスギ不動産
(株)古荘本店
名鉄観光サービス(株)熊本支店
熊本ギフト(株)
シミス不動産
宇城市体育協会
熊本県ホッケー協会
島田 俊郎
坂本不出夫
松本 あまね
藤山 徹雄
赤星 隆弘
平田 浩一
石田 勝

肥後銀行 役職員一同
(株)電通九州熊本支社
あつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部
清水電気工業(株)
(一社)熊本都市建設業協会
(株)緑研
(株)熊日広告社
(株)JTB熊本支店
(株)百花園
アサヒビール(株)熊本支社
肥後商事(株)
らくのうマザーズ
熊本県実業協同組合連合会
(株)インターライフ
(株)城野印刷所
九州産交運輸(株)
熊本県漁業協同組合連合会
(株)吉永商会
南熊本病院
(株)陽かりの郷
(株)木村建設
(株)建吉商店
(株)志水工務店
熊本日産観光(株)
立尾電機(株)
熊本県グラウンド・ゴルフ協会
熊本県少林寺拳法連盟
熊本県山岳連盟
白瀬貴美子
秋岡 廣宣
緒方 知秋
小林 義勝
坂下 玲子
荒木 泰臣
大賀 睦朗

(株)緒方建設
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
熊本学園大学
朝日野総合病院
(有)植園園
(株)森田緑化造園
(株)清水宇蔵商店
(株)リフティングブレン
(株)友和会
原田木材(株)
肥後カード(株)
熊本県住宅メーカー協議会
くまもと乳産・胃腸外科病院
(株)熊本地方卸売市場
(株)日本旅行熊本支店
熊日サービス開発(株)
(株)ワコー
三ツ矢建設(株)
幸村医院
(有)江里運送
(株)トータルインフォメーション
(株)藤本物産
(株)いけだ心善社
熊青西九州青果(株)
つばめタクシー(株)
(一社)熊本県サッカー協会
人吉球磨カヌー協会
熊本県トリスロン連合
松尾 具規
本松 賢
阪本 達也
坂梨 登美代
佐村 美穂子
土山 隆名
西田 健朗

(株)緒方生コン
司観光開発(株)
(株)熊本リビング新聞社
(一社)熊本県優良住宅協会
(株)熊本銀行 従業員組合
(株)いづの造園
(株)杉葉蜂園
(株)熊日会館
(株)エコポート九州
木上梅香園(株)
西日本電工(株)
熊本日日新聞販売店協同組合
(税)ユース会計社
(株)熊日物流
野村證券(株)熊本支店
九州総合サービス(株)
(公社)熊本県観光連盟
熊本保健科学大学
(有)サン・ハート
(有)尾上商事
(株)フードバール熊本
(株)熊本シティエフエム
(株)環境総合技術センター
住友三井オートサービス(株)
水俣地区生コンクリート協同組合
熊本県銃剣道連盟
(一社)熊本県バスケットボール協会
熊本県体育協会役員一同
松本 あさひ
西村 浩二
園木 洋二
長田 政敏
中島 仙一郎
藤本 康子
西田 佳子

(有)緒方建材
(有)瀬戸口磨化場
(株)アネシス
(一社)熊本県造園建設業協会
(株)ルミナスホーム
(株)マイステア
(株)KS
(株)TKUヒューマン
(株)ヨネザワ
大海水産(株)
肥後リース(株)
JTB協賛旅館ホテル連盟熊本支部
(一社)生命保険協会熊本県協会
(株)大劇
熊本管工建設(株)
大日本印刷(株)
(株)RKKメディアプランニング
熊本回生会病院
(有)多喜田塗装
(株)RTY
(株)高田塗装
(株)協和印刷
東京海上日動火災保険(株)熊本支店
エイティ九州(株)
ハートリンク水俣
(一財)熊本陸上競技協会
熊本県なぎなた連盟
熊本 光敏
青山 正志
河村 邦比児
松本 健雄
櫻井 スミコ
辛木 秀子
荒木 英幸
溝下 隆正

熊本出身力士初

幕内最高優勝

58年ぶり

大関昇進 **祝**
正代関

大相撲秋場所で熊本県出身力士として初の幕内最高優勝を果たし、大関に昇進した宇土市出身の正代関。県民に明るいニュースをもたらしてくれたのはもちろん、県のスポーツ振興と発展に尽力している関係者、スポーツ指導者にとっても大きな喜びと励みになりました。正代関は、熊本農業高校在学時及び東京農業大学在学時の計3回、熊本県代表として国民体育大会に出場されています。高校生の時出場された2009年の第64回トキめき新潟国体では、少年男子団体5位、個人ではみごと優勝という輝かしい成績で、熊本県代表として大いに貢献していただきました。

今回、今号発刊にあたり、電話でお話を伺うことが出来ました。



—国体出場時の思い出

(2009年 第64回トキめき新潟国体 少年男子)

高校の一試合というよりは、熊本県代表を背負って出場するという重圧があって緊張したのを覚えています。

—熊本の好きな場所(思い出の場所)

好きな場所というか…必ず行く場所っていうわけではないんですが、熊本に帰った時には親と夕飯の買い物とか行くんですけど、母が勤めているということもあって地元のスーパー(具体的に店名を挙げて)に行くんですよ。なので、そこですかね。

—スポーツを頑張っている熊本の子ども達へメッセージ

このコロナ禍の状況で僕たちも場所が中止になったりしました。大会や試合などに向けて努力してきて、それが中止になってしまってやり場のない気持ちもあると思います。

けど、その努力は絶対に自分を裏切らないし、必ず将来の自分の為になるので！

その気持ちで日々の練習をやって欲しいと思います。

気さくで飾らない話し方の中に正代関の温かい人柄が垣間見えました。

新大関として挑む来場所に向けての稽古のさなか、最後まで真摯に丁寧なご対応をいただき、ありがとうございました。

今後のご健勝と更なるご活躍を祈念しております。



つなげています スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

スポーツくじ  

2019年度(令和元年度)事業報告

(Ⅰ) 総務常任委員会

1 会議関係(県スポーツ協会関係)

- (1) 評議員会
- ① 定時(平成31年4月14日:水前寺共済会館/評議員出席43人)
 - ・平成30年度事業報告及び決算・監査報告について
 - ・評議員の選任(交代)について
 - ・理事の選任(交代)について
 - ② 臨時(決議省略による評議員会:3月18日決議/評議員全員同意)
 - ・熊本県体育協会の名称変更について
 - ・第75回熊本県民体育祭玉名荒尾大会実施要項について
 - (2) 理事会
 - ① 第1回(5月30日:ホテル熊本テラス/理事出席18人)
 - ・平成30年度事業報告及び決算・監査報告について
 - ・評議員の選任(交代)について
 - ・理事の選任(交代)について
 - ・顧問の委嘱について
 - ・令和元年度熊本県体育協会表彰について
 - ・国民体育大会及び国民体育大会九州ブロック大会の本部役員編成について
 - ・令和3年度第76回熊本県民体育祭(八代市・八代郡)の開催について
 - ・定時評議員会の開催について
 - ② 第2回(12月5日:県民総合運動公園陸上競技場会議室/理事出席23人)
 - ・第75回国民体育大会冬季大会本部役員編成について
 - ・臨時評議員会の開催について
 - ・スポーツ振興くじ助成事業の申請について
 - ・熊本県体育協会の名称変更について
 - ③ 第3回(決議省略による理事会:3月9日決議/理事全員同意)
 - ・令和2年度事業計画及び予算について
 - ・第75回熊本県民体育祭玉名荒尾大会実施要項について
 - ・熊本県体育協会の名称変更について
 - ・評議員会(文書提案)の実施について
 - (3) 役員会・理事会等の審議事項について
 - ① 第1回(5月23日:水前寺共済会館/出席5人)
 - ② 第2回(7月19日:ANAクラウンプラザホテル熊本・ニュースカイ/出席8人)
 - ③ 第3回(11月21日:水前寺共済会館/出席8人)
 - ④ 第4回(2月20日:ホテル熊本テラス/出席9人)
 - (4) 総務常任委員会
 - ① 第1回(4月25日:水前寺共済会館/出席5人)
 - ・平成30年度総務関係事業報告・決算報告について
 - ② 第2回(2月14日:水前寺共済会館/出席4人)
 - ・令和2年度総務関係事業計画・予算について
 - ・熊本県体育協会の名称変更について
 - ・役員改選(評議員、理事、監事)の進め方について
 - (5) 定期監査(5月15日:県民総合運動公園陸上競技場会議室/監事3人出席)
 - ・県体育協会監事による事業及び会計の監査
- 2 会議関係(日本スポーツ協会関係)
- (1) 評議員会
- ① 定時(平成31年6月21日:東京都/西村専務理事<評議員>・辛本常務理事<日ス協理事>)
 - ・平成30年度事業報告及び決算について
 - ・加盟団体規程の改定について
 - ・定款の改定について
 - ・評議員候補者の推薦について
 - ・次期役員会の推薦について
 - ・日本スポーツ協会への加盟について
 - (2) 理事会
 - ① 第1回(6月5日:東京都)
 - ② 第2回(6月5日:東京都)
 - (3) 加盟団体代表者会議(3月18日:東京都/専務理事)
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
 - (4) スポーツ団体ガバナンスコードの適用に関する説明会(2月21日:東京都/専務理事)
 - ・スポーツ団体ガバナンスコードの適用に関する説明
 - (5) 加盟団体事務局長会議(4月13日:東京都/事務局長)
 - ・2019年度事業・予算等の詳細について
 - (6) スポーツ団体ガバナンスコード(案)及び加盟団体規定等改定(案)説明会(4月13日:東京都/事務局長出席)
 - ・スポーツ団体ガバナンスコード(案)及び加盟団体規定等改定(案)に関する説明
 - (7) 都道府県体育協会国体連合会議(3月18日:東京都/専務理事)
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
 - ・第75回国民体育大会・鹿児島県について
 - ・国民体育大会に関する協議・連絡事項について
 - (8) 加盟団体経営フォーラム(3月17日～18日:東京都/事務局次長)
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
 - ・高度化・専門化するスポーツ団体の法人運営に適切に対応するための講義(6名参加)
- 3 会議関係(都道府県体育・スポーツ協会連合会関係)
- (1) 総会(3月17日:東京都/専務理事)
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面決議に変更
 - ・令和元年度事業報告・決算報告について
 - ・令和2年度事業計画・予算について
 - ・規約の改定及び名称の変更について
- (2) 西地区事務局長研修会(11月14日～15日:高知県/事務局長)
 - ・日本スポーツ協会事業説明
 - ・講演会「適切なスポーツ活動を継続するための組織づくり」
- (3) 事務局職員研修会(12月4日～6日:鹿児島県/事務局職員)
 - ・日本スポーツ協会・都道府県連合会・鹿児島県(国体開催)等事業説明
 - ・アム研究科会(総務・競技スポーツ・生涯スポーツ)及び研究協議等

4 会議関係(九州地区体育・スポーツ協会連絡協議会関係)

- (1) 連絡協議会
- ① 第1回(4月4日～5日:佐賀県/専務理事他4人)
 - ・平成30年度連絡協議会事業・決算報告について
 - ・2019年度連絡協議会事業計画・予算について
 - ・平成30年度国民体育大会第38回九州ブロック大会事業・決算報告について
 - ・2019年度国民体育大会第39回九州ブロック大会予算・実施要項について
 - ・2020年度国民体育大会第40回九州ブロック大会日程及び会場について
 - ② 第2回(11月7日～8日:沖縄県/専務理事他3人)
 - ・令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会の反省について
 - ・令和2年度国民体育大会第40回九州ブロック大会総則・日程等について
 - ・令和3年度国民体育大会第41回九州ブロック大会について
 - ・九州地区体育協会連絡協議会名称及び規約の改正について

5 会議関係(その他)

- (1) スポーツ振興事業助成(toto)説明会(11月29日:福岡県/事務局次長)
 - ・令和2年度の助成内容及び事業概要の説明
 - ・助成金の適正使用に関する注意事項

6 事業関係

- (1) 加盟団体・理事長会(1月11日:ホテル日航熊本/本会役員・加盟団体等127人)
 - ・講演「勇者のマインドセット」
藤井 雄一郎氏(公益財団法人日本ラグビーフットボール協会強化委員長)
- (2) 国際・全国スポーツ大会優勝祝賀会(1月11日:ホテル日航熊本/248人)
 - ・2019年に実施された全国大会等で優勝した個人・団体(優勝者数/16競技:延べ172人)
<祝賀会対象者の推移(監督含む:延べ人数)>

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	2019年
20競技	25競技	21競技	27競技	16競技
180人	243人	190人	222人	172人

(3) 広報活動

 - ① 会報誌発行:年2回(12月・3月)各2000部発行
 - ② ホームページ:年4回(6月・9月・12月・3月)更新
※お知らせ欄は随時更新

(4) 県民協賛ゴルフ大会(11月26日:くまもと城南ゴルフセンタークラブ)
 - ・県体協役員・協賛・加盟団体から44人参加

(5) 会長杯ゴルフ大会(2月8日:あつまるレークカントリークラブ)
 - ・県体協役員・協賛・加盟団体から30人参加

(Ⅱ) 地域スポーツ常任委員会

1 会議関係

- (1) 常任委員会
- ① 第1回(4月26日:水前寺共済会館/委員2名出席)
 - ・平成30年度事業報告・決算報告について
 - ② 第2回(10月30日:県民総合運動公園/委員2名出席)
 - ・第2回県民スポーツ専門委員会と合同会
 - ・第74回熊本県民体育祭宇城地域大会について
 - ・今後の熊本県民体育祭の意見要望
 - ・第75回熊本県民体育祭玉名荒尾大会について
 - ③ 第3回(2月10日:水前寺共済会館/委員4名出席)
 - ・令和2年度事業計画(案)・予算(案)について
 - ・熊本県民体育祭について
- <県民スポーツ専門委員会>
- 1 会議関係(県スポーツ協会)
- (1) 専門委員会
- ① 第1回(7月3日:県民総合運動公園陸上競技場会議室)
 - ・荒天のため中止。書面協議へ変更
 - ・指導者養成関連及び県民体育祭関連(調査説明・結果報告)
 - ② 第2回(10月30日:県民総合運動公園陸上競技場会議室/委員4.9人出席)
 - ・第2回地域スポーツ常任委員会と合同会
 - ・内容は上記「第2回常任委員会」を参照
- 2 会議関係(日本スポーツ協会)
- (1) 事務担当委員会(4月15日～16日:東京都/事務局1名出席)
 - ・平成31年(令和元年)度事業概要及び各種手続き説明
- (2) 全国スポーツ指導者連絡会議(12月6日:東京都/代表委員(指導者協議会会長)1名出席)
 - ・日本スポーツ協会からの伝達事項及び指導者養成事業に関する協議

<県民スポーツ専門委員会>

1 会議関係(県スポーツ協会)

- (1) 専門委員会
- ① 第1回(7月3日:県民総合運動公園陸上競技場会議室)
 - ・荒天のため中止。書面協議へ変更
 - ・指導者養成関連及び県民体育祭関連(調査説明・結果報告)
 - ② 第2回(10月30日:県民総合運動公園陸上競技場会議室/委員4.9人出席)
 - ・第2回地域スポーツ常任委員会と合同会
 - ・内容は上記「第2回常任委員会」を参照
- 2 会議関係(日本スポーツ協会)
- (1) 事務担当委員会(4月15日～16日:東京都/事務局1名出席)
 - ・平成31年(令和元年)度事業概要及び各種手続き説明
- (2) 全国スポーツ指導者連絡会議(12月6日:東京都/代表委員(指導者協議会会長)1名出席)
 - ・日本スポーツ協会からの伝達事項及び指導者養成事業に関する協議

3 会議関係(熊本県民体育祭)

- (1) 第74回熊本県民体育祭宇城地域大会
- ① 第1回都市代表者会・抽選会(8月7日:県庁地下大会議室)
 - ・都市別参加人員・参加競技・競技地点の確認
 - ② 第2回都市代表者会(8月28日:県庁地下大会議室)
 - ・選手変更について
 - ③ 熊本県民体育祭宇城地域大会実行委員会第2回総会(4月12日:宇城市役所/副会長出席)
 - ・平成30年度実行委員会決算について
 - ・平成31年度実行委員会予算について
 - ④ 熊本県民体育祭宇城地域大会実行委員会解散総会(11月26日:宇城市役所/常務理事出席)
 - ・第74回大会報告について
 - ・第74回大会決算報告について
- (2) 第75回熊本県民体育祭玉名荒尾大会
- ① 熊本県民体育祭玉名荒尾大会実行委員会総会(9月5日:玉名市民会館/副会長出席)
 - ・実行委員会規約及び役員について
 - ・実行委員会事業計画について

4 事業関係(大会関係)

- (1) 第74回熊本県民体育祭宇城地域大会
- ・期日:令和元年9月4日～15日
 - ・主会場:宇城市・宇土市・美里町
 - ・参加人員:加盟地域体育協会の監督選手・役員総数6,874名(公開競技を除く)
 - ・成績(男女総合)
 - 1位:熊本市 2位:菊池郡市 3位:八代市
 - 女子総合
 - 1位:熊本市 2位:八代市 3位:球磨郡
 - 総合確連
 - 1位:八代郡市 2位:下益城郡 3位:菊池郡市
 - ・入場行進優秀団 人吉市・宇土市・宇城市・葦北郡

・競技別成績(採点競技)

競技名	優勝(男)	優勝(女)	競技名	優勝(男)	優勝(女)
陸上競技	球磨郡	八代市	剣 道	熊本市 ※男女混成	
水 泳	球磨郡	熊本市	弓 道	熊本市 ※男女区別なし	
軟式野球	宇城市、天草市	相 模	宇土市	—	
ソフトボール	菊池郡市	宇土市	銃剣道	宇土市	—
ソフトテニス	天草市 ※男女混成	空手道	葦北郡	—	
卓 球	菊池郡市 ※男女混成	アーチェリー	熊本市 ※男女区別なし		
バドミントン	熊本市 葦北郡	クレ射撃	人吉市 ※男女区別なし		
バレーボール	熊本市 玉名市	馬 術	人吉市 ※男女区別なし		
バドミントン	熊本市 熊本市	テニス	熊本市 ※男女混成		
ハンドボール	宇城市	—	ゲートボール	天草郡	熊本市
サッカー	熊本市	—	ボウリング	熊本市 ※男女区別なし	
柔 道	熊本市	—	グラウンドゴルフ	天草郡	下益城郡

- ・公開競技・競技実施くまろ、ウエイトリフティング、ボクシング、登山、セーリング、ゴルフ、新体操、レスリング、ハンドボール大会>
- ・ラグビーフットボール(WC開催のため)、日本拳法(人数不足のため)開催中止
- <熊本県民体育祭 採点競技 選手・監督の参加人数(都市役員・競技会審判役員除く)>

開催年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催都市	阿蘇郡市	人吉球磨	特別大会	宇城地域
参加人数	開催中止	6627人	6607人	6874人

(2) 日本スポーツマスターズ2019岐阜大会(9月20日～24日:岐阜県)

- ・主催:公益財団法人日本スポーツ協会並びに開催県関係団体
- ・実施競技:水泳、サッカー、テニス、バレーボール、バスケ、ソフトボール、自転車、軟式野球、ソフトテニス、ソ

フトボール、バドミントン、空手道、ボウリング、ゴルフ(13競技)

(3) 日中成人スポーツ交流事業・静岡大会視察<令和2・3年度熊本県実施>

- ・期日/場所:11月25日～28日/静岡県静岡市
- ・視察内容:県競技団体関係者(テニス・バスケ・卓球・卓球・バドミントン)及び事務局員による次年度開催に向けた競技会視察及び日本スポーツ協会並びに静岡県関係者との情報交換

5 事業関係(研修会・講習会関係)

- (1) 熊本県スポーツ指導者研修会(6月29日:グランメッセ熊本/128人参加)
- ・講演Ⅰ
演題:スポーツ指導における法的問題について
講師:合田 雄二郎氏(弁護士・日本スポーツ法学会)
 - ・講演Ⅱ
演題:スポーツを効果的に行うための障害予防
講師:陣上 修一氏(熊本保健科学大学・本会トレーナー部会・公認AT)
 - <研修会参加人数>
- | 開催年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------|--------|--------|--------|-------|
| 参加人数 | 104人 | 132人 | 149人 | 128人 |

(2) 公認スポーツ指導者全国研修会(12月7日:東京都/代表委員:指導者協議会副会長1名出席)

- ・講演Ⅰ
演題:これからのスポーツ指導者に求められること～より良いスポーツの「場」を目指して
座長:松尾 哲夫氏(立教大学教授)
ゲストスピーカー:上野 和香子氏(北柔会)・内村 周子氏(Shuバレースタジオ)
- ・講演Ⅱ
演題:スポーツにおける勇気づけ
講師:岸見 一郎氏(哲学者)

(3) スポーツリーダー養成講座(NHK学園の通信講座)

- ・NHK学園の通信講座/年4回開催(4季随時受付)
- ・関係団体(競技団体・市町村体育協会・総合型地域スポーツクラブ)にパンフレット交付・周知

(4) 指導員養成講習会

- ・共通科目Ⅰ:NHK学園の通信講座
- ・専門科目Ⅰ:日本スポーツ協会委託事業/実施希望無し
- ・独自開催事業/バレーボール:8月31日～9月8日/23名受講
- ・バドミントン:10月19日～20日/12名受講

(5) 上級指導員養成講習会 ※実施希望無し

<本県開催 指導員・上級指導員 養成講習会 受講者(新規取得者)>

実施競技	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ソフトテニス指導員	11人	—	26人	—
卓球上級指導員	11人	5人	—	—
ソフトボール指導員	—	13人	—	—
空手道指導員	—	26人	—	—
空手道上級指導員	—	16人	16人	—
バドミントン指導員	—	10人	—	12人
バレーボール指導員	—	66人	54人	23人

6 事業関係(助成事業関係)

(1) 地域スポーツ普及事業

- ・助成対象団体:本会加盟の地域体育協会
- ・助成額:2,700,000円

体協名	実 施 事 業 名
熊本市	熊本市民スポーツ講演会
八代市	熊本県民体育祭選抜強化練習
人吉市	スポーツ教室事業
荒尾市	熊本県民体育祭強化事業
水俣市	ニュースポーツ交流大会
玉名市	県民体育祭に伴う各種団体組織整備強化
宇土市	国民体育祭ジュニアユース教室、長距離陸上記録会、地区対抗駅伝競走大会、陸上競技強化練習会
上天草市	上天草市民体育祭
宇城市	県民体育祭強化練習・選手強化事業
天草市	スポーツ教室事業(アーチェリー・バドミントン・バレーボール・ハンドボール)
山鹿市	熊本県民体育祭選抜会
玉名郡	組織整備事業
菊池郡市	熊本県民体育祭菊池郡市選手強化事業
阿蘇郡市	阿蘇郡市民体育祭
上益城郡	陸上競技強化合宿事業
下益城郡	ソフトテニス協会ジュニア強化及び審判講習会、グラウンドゴルフ協会普及指導員講習・実技講習会、バドミントン協会実技講習会、テニス協会実技講習会、陸上競技協会審判講習会
八代郡	幼児体育支援
葦北郡	県民体育祭選手強化事業、熊日三太郎駅伝競走大会
球磨郡	球磨郡民体育祭
天草郡	県民体育祭選手強化事業

(2) スポーツ教室開設事業(幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム訪問教室)

- ・地域のスポーツ少年団やスポーツクラブ等にACPの講師を派遣し、体験教室を実施。派遣実績6か所 延334名参加

団体名	日時	会場	講師	参加者
熊本県小笠原寺法道連盟	11月3日	水俣市総合体育館	渡邊明美氏	小学生・中学生132人
人吉市	11月24日	人吉市立西瀬小学校	松崎貴美子氏	児童22人、保護者28人
田 辺 地 域スポーツクラブ	12月12日	熊本市立田辺小学校	甲斐 貴子氏	小学生30人
阿蘇市	2月16日	阿蘇市立阿蘇体育館	小川 正希氏	幼児、小学生49人と保護者
小国ゆうあい倶楽部	2月20日	小国町立小国小学校	松崎貴美子氏	小学生35人
NPO法人総合型クラブSCC宇城	2月23日	希望の星サン・アビリティーズ	青島 早希氏	小学生26人、幼児3人、一般9人

(3) スポーツ指導者等と地域スポーツのマッチング・情報提供事業

- ・地域から要望があったスポーツ指導者やスポーツ関係の講師について、本会加盟団体や本会役員と連携し、マッチング・情報提供を積極的に行う。7団体に対して講師等を紹介。

団体名	日時	会場	講師	参加者
NPO法人総合型クラブSCC宇城	6月22日	学園期のトレーニングと外備予	金澤 浩氏(スポーツ医科学専門委員会トレーナー部会)	学童、クラブ関係者34人
宇城市スポーツ推進委員協議会小川支部	7月6日	ストロッチ基礎	坂田沙希氏・井岸加恵氏(県スポーツ振興事業団)	スポーツ推進員等40人
菊池市スポーツ推進委員協議会	12月7日	怪我の予防やテーピング講習	緒方伸一氏(スポーツ医科学専門委員会トレーナー部会)	スポーツ推進員等26人
宇土市教育委員会	1月22日	ACPと気になる子どもの支那法	松崎貴美子氏(ACP講師)	指導者等45人

公益財団法人熊本県スポーツ協会

団体名	日時	会場	講師	参加者
阿蘇市体育協会	2月9日	ストレッチ・準備運動の実技指導	手嶋智子氏（スポーツ医学専門委員会トレーナー部会）	指導者等 16人
御船町教育委員会	2月19日	発達発達に合った指導について	手嶋智子氏（スポーツ医学専門委員会トレーナー部会）	指導者等 23人
NPO 法人火の山スポーツクラブ	2月22日	スポーツ前後のストレッチ・準備運動	緒方伸一氏（スポーツ医学専門委員会トレーナー部会）	指導者等 26人

(4) 熊本県スポーツ指導者協議会活動推進事業

- ・助成対象団体：熊本県スポーツ指導者協議会
- ・助成内容：熊本県スポーツ指導者協議会の運営及び事業に対する助成
- ・助成額：230,000円（団体からの申請額による）

(5) 加盟団体組織強化費

- ① 国体外競技強化・普及事業
- ・国体外競技8競技団体に助成金交付／560,000円

団体名	実施事業名
グラウンド・ゴルフ協会	国民体育大会グラウンド・ゴルフ競技会
ゲートボール連合	ゲートボール技能検定講座
少林寺拳法連盟	少林寺拳法熊本県大会
ダンススポーツ連盟	熊本ダンスフェスティバル／グレードアップ講座
武術太極拳連盟	全日本武術太極拳選手権大会
テコンドー協会	熊本県テコンドー選手権大会
日本拳法連盟	日本拳法熊本大会
バウダンテニス協会	熊本県バウダンテニス親善交流大会

- ② 免税募金還元事業
 - ・免税募金：100円募金の協力団体への還元金／5,466,079円
- ③ 高等学校野球・軟式野球の全国大会出場に係る激励金
 - ・第101回全国高校野球選手権大会激励金 熊本県立熊本工業高等学校

7 表彰関係

(1) 熊本県スポーツ協会表彰事業（9月14日：宇城市／熊本県民体育祭総合開会式時に実施）

- ・スポーツ功労者：25名／スポーツ優秀者：2名／スポーツ優良団体：8団体
- ＜県スポーツ協会表彰者の推移＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
スポーツ功労者	17人	22人	21人	25人
スポーツ優秀者	3人	—	1人	2人
スポーツ優良団体	5団体	8団体	6団体	8団体

(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰事業（12月7日：東京都／全国スポーツ指導者研修会で実施）

- ・本県受賞者：古瀬 昭夫氏（熊本県医師会推薦／スポーツドクター）井川 雄一氏（熊本県サッカー協会推薦／コーチ）

(3) 2019年度ミズノスポーツメントール賞

- ・本県推薦受賞者 釜 辰昌氏（熊本県空手道連盟）

8 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録状況

(1) 熊本県登録数 全体合計 2077人（スポーツリーダーを除く）

- ＜内訳＞
- ・競技別指導者資格（指導員・コーチ等）／1744人
- ・フィットネス資格（プログラマー・フィットネストレーナー等）／107人
- ・メディカル・コンディショニング資格（アスレティックトレーナー・スポーツドクター等）／122人
- ・マネジメント資格（アシスタントマネージャー・クラブマネージャー等）／174人

＜公認スポーツ指導者登録状況＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全体合計（スポーツリーダー除く）	2,664人	2,670人	2,212人	2,077人
競技別指導者資格	2,300人	2,299人	1,725人	1,744人
フィットネス資格	97人	97人	97人	107人
メディカル・コンディショニング資格	108人	115人	116人	122人
マネジメント資格	159人	159人	184人	174人

< 総合型地域スポーツクラブ専門委員会 >

1. 会議関係（県スポーツ協会）

(1) 専門委員会

- ① 第1回（6月28日：水前寺共済会館／委員7人出席）
 - ・委員の交代について
 - ・平成30年度事業及び決算報告について
 - ・令和元年度（2019年度）クラブ概要調査の集計結果について
- ② 総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度について
 - ・第2回（2月10日：水前寺共済会館／委員9人出席）
 - ・中間支援組織の整備に係る県版プロジェクトについて
 - ・令和2年度事業計画案及び予算案について
 - ・総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度について

2. 会議関係（日本スポーツ協会）

(1) 全国スポーツクラブ会議 2019inTOKYO（6月8日～9日：東京都／事務局1人出席）

- ・基調講演：スポーツクラブが創る地域共生社会 講師：鈴木大地氏（スポーツ庁長官）
- ・シンポジウムⅠ
 - 1. 「スポーツを支える公園のあり方」
 - 2. 「スポーツツーリズム」
 - 3. 「健康経営×スポーツクラブ」
 - 4. 「ユニバーサルスポーツ」
 - 5. 「スポーツをきっかけとしたMICEの推進」
- ・シンポジウムⅡ
 - 1. 「スポーツイベント企画」
 - 2. 「ARスポーツの可能性～先端技術を生かすスポーツへ」

(2) クラファアドバイザーミーティング（5月30日～5月31日：東京都／事務局2人出席）

- ・日本スポーツ振興センターからの情報提供
- ・日本スポーツ協会が行う総合型地域スポーツクラブ育成事業の各種説明
- ・講演兼アイスブレイク「一瞬で相手の心を引き付けるプレゼンテーション力」
- ・説明「登録・認証制度原案における登録手続きに関する「事務局マニュアル」概要」
- ・説明「登録・認証制度原案と中間支援組織の関係について」
- ・グループワーク「登録申請書類を基にクラブへの支援内容を考える」

(3) スタートアップ会議（6月1日：東京都1人出席）

- ・説明「クラブ運営に係る会計処理について」

(4) 九州ブロッククラブネットワークアクション

- ① 実行委員会（7月5日：宮崎県中央公民館／事務局2人出席）
 - ・九州ブロッククラブネットワークアクションに係る打ち合わせ会議
- ② 九州ブロッククラブネットワークアクション 2019 inみやざき（11月9日～10日：事務局2人出席）
 - ・総合型クラブ登録・認証制度の創設に向けた情報共有
 - ・講演：これからの総合型が地域で必要とされるためには 講師：渡邊 優子氏

- ・パネルディスカッション「総合型クラブと学校との連携・融合」
- ・分科会「地域に必要とされるクラブをめざして」

(5) スポーツ活動支援事業（総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業）【スポーツ庁委託事業】

- ① 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の整備に向けた説明会（6月27日：福岡市／事務局2人出席）
 - ・スポーツ庁総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度に向けての取組
 - ・日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の原案について」
 - ② スポーツ活動支援事業（総合型地域スポーツクラブの質的充実に向けた支援推進事業）第1回中央プロジェクト会議（9月2日：東京都／事務局2人出席）
 - ・スポーツ庁委託事業の概要について
 - ・報告書目次（案）及び整備モデル（案）について
 - ③ 県版プロジェクト連携・協働体制構築プロジェクト
 - 第1回会議（9月19日：熊本デルサ／委員11人、中央プロジェクト2人、事務局2人出席）
 - 県版プロジェクト
 - ・総合型地域スポーツクラブの概要と現状
 - ・整備モデル（案／県版報告書）
 - ・現状の総合型クラブへの支援状況に関する検証
 - ・総合型クラブ自らが行う質的充実に向けた取組
 - 連携・協働体制構築プロジェクト
 - ・県行政と総合型クラブとの連携・協働事例
 - ・行政と総合型クラブとの連携・協働の促進に向けた検討

- イ 第2回会議（10月28日：熊本デルサ／委員11人、中央プロジェクト3人、事務局2人出席）

- 県版プロジェクト
 - ・都道府県行政と総合型クラブとの連携・協働の促進に向けた検討
- 連携・協働体制構築プロジェクト
 - ・現状の総合型クラブへの支援状況に関する検証
 - ・行政における総合型クラブへの理解及び具体的支援の検討に関する検証
 - ・総合型クラブ自らが行う質的充実に向けた仕組の検証
 - ・総合型クラブと地方公共団体等の連携・協働体制の構築に向けて
- ウ 第3回会議（12月16日：熊本デルサ／委員11人、中央プロジェクト3人、事務局2人出席）
 - ・熊本県版プロジェクト報告書取りまとめ
 - ・中間支援組織の整備に要する経費の試算

(6) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度原案の修正等に関する説明会（2月5日：東京都／事務局1人出席）

- ・スポーツ庁「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度に向けた状況について」
- ・日本スポーツ協会「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の原案等について」

(7) 令和元年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会総会（2月26日：東京都／事務局2人出席）

- ・令和2年度公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ育成計画案について
- ・SC全国ネットワークの取組について（令和元年度の取組実績と令和2年度の取組案）
- ・総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度及び中間支援組織の整備について
- ・中間支援組織の整備に向けた都道府県協議会の取組について

3 ヒアリング関係

(1) 創設支援クラブ

- ① とみあい総合型クラブ設立準備委員会／計11回（アスナル富合／事務局出席）
 - ・第1回（4月16日）
 - ・第2回（5月21日）
 - ・第3回（6月18日）
 - ・第4回（7月17日）
 - ・第5回（8月20日）
 - ・第6回（9月18日）
 - ・第7回（10月13日）
 - ・第8回（10月16日）
 - ・第9回（11月19日）
 - ・第10回（12月17日）
 - ・第11回（1月21日）
- ② 天草市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会（天草市民センター／1人出席）
 - ・第1回（5月14日）

(2) 活動クラブ【69クラブ訪問】

No.	クラブ名	訪問日
1	NPO 法人クラブきくよう	1月23日
2	クラブこうし	5月24日
3	NPO 法人クラブおおづ	12月4日
4	中央ふれあいスポーツクラブ	3月24日
5	クラブなごみ	8月8日
6	やまか総合スポーツクラブ	8月8日
7	NPO 法人 A-life なんかん	6月4日
8	クラブ南阿蘇	4月18日
9	NPO 法人火の山スポーツクラブ	12月17日
10	NPO 法人長洲にここクラブ	6月1日、9月24日
11	ヴィーブル FUN クラブ	5月24日
12	オレンジはあとクラブ	9月24日
13	小川ゆうあい倶楽部	12月17日
14	産山ヒコタイ・スポーツクラブ	8月9日
15	（一社）菊池 伸 ったりスポーツクラブ	5月24日
16	HG SPO	12月17日
17	いだてん玉名	11月21日
18	日吉地域総合型スポーツクラブ	2月4日
19	NPO 法人桜木ふれあいスポーツクラブ	9月12日
20	ほくろ総合型スポーツクラブ	2月25日
21	鹿田地域なかよしスポーツクラブ	3月11日
22	長嶺地域スポーツクラブ	中止
23	川尻スポーツクラブ	1月30日
24	花園スポーツクラブ	2月27日
25	東部地域総合型スポーツクラブ	6月14日
26	NPO 法人スポレク・エイト	9月12日
27	天明総合型スポーツクラブ	7月2日
28	城北スポーツクラブ	11月18日
29	帯山地域スポーツクラブ	3月9日
30	エス・エス・月出	10月18日
31	御幸スポーツクラブ	8月6日
32	NPO 法人 uGUN スポ徳木	2月20日
33	あきた総合型スポーツクラブ	6月16日
34	上麻路西地区総合型スポーツクラブ	4月13日
35	出水南とっとネット	3月4日
36	くももと城南スポーツクラブ	中止
37	田辺地域スポーツクラブ	8月6日
38	火の山スポーツクラブ	6月14日、1月30日
39	NPO 法人うとスポーツクラブ	12月4日
40	NPO 法人上天草ｽｸｰﾙｸﾗﾌﾞ	5月8日
41	うしぶかイキエクラブ	5月14日
42	元氣・夢クラブ	6月13日

No.	クラブ名	訪問日
43	サビレツギみなまたｽｸｰﾙｸﾗﾌﾞ	1月17日
44	フネビーズこやかスポーツクラブ	1月30日
45	J K A レジャークラブ	6月12日
46	ふれあいスポーツクラブあさぎ	2月12日
47	くまひさマイルスポーツクラブ	1月28日
48	蒲前さわやかクラブだんだん	2月12日
49	あいあいスポーツクラブたらぎ	12月23日
50	チャレンジエイトおたご	10月8日
51	NPO 法人不知火クラブ	10月11日
52	カルヴァーリョ・ラッソ人吉	1月29日
53	クラブれいほく	11月12日
54	1・YOU ッグ・ブ&加チアア	6月11日
55	水上元氣クラブ	10月23日
56	山都ふれあいスポーツクラブ	1月30日
57	UKI おかひクラブ	1月29日
58	ひかわスポーツクラブ	10月8日
59	茶れんじクラブ	2月14日
60	アロマクラブ	5月8日
61	NPO 法人総合型クラブ SCC 宇城	5月15日
62	わいわいクリスボやま	2月14日
63	益城わくわくスポーツクラブ	2月5日
64	さかもと未来クラブ	10月2日
65	DREAM 流	10月2日
66	つなぎ運動しずみ隊	6月12日
67	島島町総合型地域クラブ	10月11日
68	NPO 法人ヴィーノバ水俣	1月17日
69	やつし総合型クラブ「リ・ボンズ」	4月28日、12月6日

(3) 未育成町村

- ① 西原村（11月25日）
- ② 南小国町（11月27日）
- ③ 五木村（1月29日）
- ④ 錦町（2月22日）

(4) 既設置町村

- ① 上天草市（11月12日）
- ② 水俣市（1月17日）

4 事業関係

(1) 地域スポーツマネジメント講習会（7月13日～7月14日：桜の馬場城彩苑／38人参加）

- ・クラブ運営に係る講習会及び検定試験（検定試験受験者25人）
- 日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー資格専門科目（講習14時間、試験1時間）
- ・講師：
 - 宮良 俊行氏（長崎国際大学准教授）
 - 西田 由美氏（NPO 法人 A-life なんかん事務局局長）
 - 酒田 憲治氏（元氣・夢クラブクラブマネージャー）
 - 河野 真介氏（一般社団法人志誠会マチと医科学研究所代表理事）
 - 米原 賢一氏（1・YOU スポーツ&カルチャークラブ副会長）
 - 兼田 裕明氏（NPO 法人うとスポーツクラブクラブマネージャー）
- ＜地域スポーツマネジメント講習会参加者・資格取得者実績＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	21人	34人	40人	38人
内資格取得者	12人	26人	23人	25人

(2) 地域スポーツ振興「講師等派遣事業」（派遣実績12か所・延べ813人）

派遣先	期日	内容	講師	参加者（延べ）
大津町体育協会	8月22日～30日（計4日）	サッカースクール	甲斐 卓氏 桐原正喜氏	101人
山都ふれあいスポーツクラブ	8月12日（計1日間）	ケガをしにくいからだづくり教室	谷川直昭氏 前田絵美氏	17人
産山ヒコタイ・スポーツクラブ	7月26日～8月9日（計4日間）	水泳教室	斎藤陽子氏	55人
やつし総合型クラブ「リ・ボンズ」	7月20日～8月30日（計8日間）	陸上と総合運動	川尾勇彦氏	66人
クラブこうし	9月19日～9月26日（計2日間）	空手道教室	緒方大作氏	20人
クラブこうし ヴィーブル FUN クラブ	9月25日（計1日間）	ウェルネス講座	若狭直朗氏	43人
クラブこうし	10月1日・10月8日（計2日間）	かけっこ教室	立山明佐氏	41人
ヴィーブル FUN クラブ	10月24日・10月31日（計2日間）	スポーツ栄養講座	前田絵美氏 吉村明子氏	43人
天明総合型スポーツクラブ	10月6日・11月3日（計2日間）	陸上教室	田中伸二氏 田中宏和氏	43人
産山ヒコタイ・スポーツクラブ	8月30日～11月5日（計6日間）	バドミントン教室	渡邊敬幸氏	118人
出水南とっとネット	9月21日～11月8日（計8日間）	バドミントン教室	松隈美千穂氏	154人
あいあいスポーツクラブたらぎ	9月1日～12月23日（計8日間）	ピラティス体験教室	佐藤亜紀子氏	112人

＜地域スポーツ振興「講師等派遣事業」実績＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
派遣先	9か所	12か所	9か所	12か所
延べ人数	1019人	763人	1103人	813人

(3) 熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動推進事業

- ・助成対象団体：熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
- ・助成額：100,000円

(4) 地域スポーツ指導者研修会（2月2日：菊陽町図書館ホール／225人参加）

- ・県教育委員会委託事業／地域スポーツの振興に携わる関係者への資質向上のための研修会。全日程受講者には県教育委員会より受講修了証が交付される。（実績222人）
- ・講演：人を育てる指導者とは 講師：巻 誠一郎氏（NPO 法人 YOUR ACTION 理事長）
- ・講和：ジュニア期のスポーツ指導に期待されること 講師：吉田 繁敬氏（アイ・プラス株式会社代表取締役役員）
- ＜地域スポーツ指導者研修会参加実績＞

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	347人	335人	306人	225人

5 連絡協議会関連事業

(1) 評議員会（6月22日：ウイングまつばせ／事務局2人出席）

(2) 理事会

- ① 第1回（5月18日：御船町役場／事務局2人出席）
- ② 第2回（8月19日：県民総合運動公園陸上競技場／体協選出理事1人、事務局2人出席）
- ③ 第3回（10月19日：御船町役場／体協選出理事1人、事務局2人出席）

2019年度(令和元年度)事業報告

(3) 常任委員会

- ①第1回(4月22日: 県民総合運動公園陸上競技場/事務局2人出席)
- ②第2回(7月22日: 県民総合運動公園陸上競技場/事務局2人出席)
- ③第3回(9月30日: 県民総合運動公園陸上競技場/事務局2人出席)
- ④第4回(2月17日: 県民総合運動公園陸上競技場/事務局2人出席)

(4) クラブ啓発PRプロジェクト会議

- ①第1回(9月30日: 県民総合運動公園陸上競技場/事務局2人出席)
- ②第2回(12月19日: 県民総合運動公園陸上競技場/事務局2人出席)
- ③第3回(2月6日: 県民総合運動公園陸上競技場/事務局2人出席)

(5) 連絡協議会研修会(8月24日: エアスポーツホテル熊本)

- ・協議: 総合型地域スポーツクラブの登録、認証制度を学ぶ
講師: 渡邊 優子氏
(新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長)
- ・グループワーク
テーマ:「SDGs×総合型地域スポーツクラブ～社会課題をスポーツの力で解決する～」
講師: SDGs de 地方創生公認ファシリテーター
熊野 たまみ氏、松田 博氏、神田 みゆき氏

(6) 県内クラブ交流大会

- ①主催ブロック会議
・第1回(5月11日: 御船町役場/事務局2人出席)
 - ・第2回(9月21日: 御船町役場/事務局2人出席)
 - ・第3回(11月2日: 御船町役場/事務局2人出席)
 - ②実行委員会
・第1回(5月18日: 御船町役場/事務局2人出席)
 - ・第2回(10月19日: 御船町役場/協議選出理事1人、事務局2人出席)
 - ・第3回(12月14日: 熊本県民交流館/バレア/事務局1人出席)
 - ③前日準備: リハール(11月23日: 御船町総合スポーツセンター/事務局2人出席)
 - ④県内クラブ交流大会(11月24日: 御船町総合スポーツセンター/協議選出理事2人、事務局2人出席)
- ・内容: 種目体験(ボッチャ、トランポリン)、交流試合(卓球、ラージボール卓球)
- ・ブロック対抗(スリッパ飛び、転がしドッジボール、シッティングミニバレー、ひらばーるボールバレー、長縄どび)、体験(レク式体力チェック、ニュースポーツ)
- ・参加者: 30クラブ 約400人

(7) ブロック別事業

- ①南ブロック
・第1回連絡調整会議(5月11日: 御船町役場/事務局2人出席)
- ・南ブロック交流会(8月31日: 湯前町B&G 海洋センター体育館/事務局2人出席)
- ・第2回連絡調整会議(9月21日: 御船町役場/事務局2人出席)
- ・第3回連絡調整会議(11月2日: 御船町役場/事務局2人出席)

(Ⅲ) 競技スポーツ常任委員会

1 会議開催

(1) 常任委員会

- ①第1回(4月25日: 水前寺共済会館/委員3名出席)
- ・平成30年度事業報告、決算報告
- ②第2回(2月12日: 水前寺共済会館/委員4名出席)
- ・令和2年度事業計画(案)、事業予算(案)について

<強化専門委員会>

1 会議開催

(1) 専門委員会

- ①第1回(10月29日: 水前寺共済会館/委員9人出席)
- ・医学専門委員会と合同会
- ・国民体育大会の競技成績等について
- ・競技力向上対策について
- ②第2回(2月12日: 水前寺共済会館/委員9人出席)
- ・医学専門委員会と合同会
- ・第75回国民体育大会冬季大会成績について
- ・今後の選手強化に向けた課題、協議について
- (2) 競技力向上対策事業説明会(4月18日: 県立総合体育館/対象43団体)
- ・基本方針、実施要項及び各種事業要領について
- ・事業費の配分について
- ・助成金交付要項について
- ・スポーツ医学対策事業について
- ・熊本県体育協会自主事業について
- ・平成31年(2019年)度国民体育大会に関すること

2 事業関係(県補助・委託事業関連)

(1) 競技力向上対策事業

- ①国体強化事業: 55,000,000円
- ・一般強化<通年、全競技団体、種別> (53,900,000円)
- ・練習環境整備事業 (1,100,000円)
- ア 貴指導体制整備事業: 15,000,000円
- ・ジュニア育成強化事業
- ・ジュニア育成事業(小・中学校)
- ・競技団体へ助成
- ・ジュニア強化事業(中・高校生)
- ・各中学校体育団体へ助成
- イ 指導体制強化事業
- ・強化指導者研修派遣事業(中央研修、企業・大学連携)
- ③トータルサポート事業
- ア 競技力向上対策研修会(11月2日: 水前寺共済会館/41競技団体82名参加)
- ・講演「競技力向上のためのスポーツコーチング」
講師: 藤森 啓介氏(一般社団法人スポーツコーチングJapan)
- ・第39回九州ブロック大会及び第74回国民体育大会の成績報告及び分析
- イ 調査研究、広報事業
- ・第39回九州ブロック大会及び第74回国民体育大会出場競技者等作成
- ・事業説明資料等作成

<実施団体・参加者数の推移>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施団体	41団体	41団体	41団体	41団体
国体強化事業参加者数(延べ)	11563人	12795人	10316人	10333人
貴指導体制整備事業参加者数(延べ)	10699人	9811人	10274人	8538人

(2) 子どものスポーツ環境整備事業: 18,050,000円

- ・32競技団体に助成。練習環境の整備、スポーツ教室、体験合宿等を実施。

<実施団体・参加者数の推移>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施団体	31団体	29団体	29団体	32団体
参加者数(延べ)	2901人	2741人	4149人	7053人

(3) 2020 東京オリンピック選手育成事業:

21,144,000円

- ①指定選手育成事業
- ・県が指定した29名の育成指定選手へ競技団体を通じて助成。海外遠征や国内における強化をサポート。
- ②マルチサポート事業
- ・メディカルチェック事業
- ・国立スポーツ科学センター(JISS)メディカルセンター並びに熊本医師会ヘルスケアセンターの支援・協力のもと、育成指定選手のうち12名を12月から1月の期間で3グループ編成により、メディカルチェックを実施。
- ・パーソナルトレーナー派遣事業
- ・育成指定選手に対して、トレーナー配置を実施。3指定選手に対し、2名を配置(トレーナーは本会トレーニング部会から選出)
- ・マルチサポート事業
- ・心理・栄養等をはじめ、各種トレーニングの各種教本等の配付や競技用具等の経費助成を行い、アスリートに側面から支援

<育成指定選手数の推移>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
育成指定選手	46人	29人	31人	29人

(4) 優秀競技者・指導者育成支援事業: 4,270,000円

- ・26競技団体に助成。トップアスリートや優秀な指導者及びスポーツ医学に精通した講師等を招聘し、研修会や講習会を実施。

<実施団体・参加者数の推移>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施団体	29団体	28団体	27団体	26団体
参加者数(延べ)	1913人	1839人	1920人	1796人

- (5) 競技力向上対策事業に係る競技団体ヒアリングの実施
- ・対象競技団体: 国民体育大会の正式競技として実施される関係団体等43団体
- ・期間: 11月～3月 ※期間中、各団体1時間程度
- ・実施者: 本会及び県体育保健課スポーツ振興班
- ・会場: 県民総合運動公園陸上競技場会議室

3 事業関係(日本スポーツ協会再委託事業)

- (1) ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト<ハンドボール競技・競技拠点県>
- ・将来性の豊かな地域のスポーツアスリート又はアスリートからメダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートまでの持続可能で強固なアスリート育成を道筋(パスウェイ)「アスリート 育成パスウェイ」を構築・充実させることを目的に全国から2期生7名を选拔し、公益財団法人日本ハンドボール協会等と連携実施
- ・第1回実行委員会(6月5日: 熊本市)/第2回実行委員会(12月16日: 熊本市)
- ・NTC 合宿(4月19日～21日: 味の素ナショナルトレーニングセンター)
- ・韓国遠征合宿(6月13日～16日: 大韓民国・仁川広域市)
- ・拠点県合宿(9月6日～8日: 熊本県山鹿市: 鹿央体育館)
- ・2期生修了式(12月: 東京都)
- (2) 事業関係(県スポーツ協会自主事業関連)
- (1) 第35回日韓親善スポーツ交流(忠清南道)事業(受入)
- ・実施期間: 6月30日～7月3日
- ・対象者: 本県及び韓国の高等学校男女: 各国20名(含む本部役員)
- ・競技団体: フェンシング
- ・内容: スポーツを通して両国の友好親善を深めるとともに、本県の競技力向上を図ることを目的に実施。

<通年度大会の選手団推移: 過去5大会>

開催年 大会	平成27年度 第31回	平成28年度 第32回	平成29年度 第33回	平成30年度 第34回	令和元年度 第35回
開催地	熊本	忠清南道	熊本	忠清南道	熊本
競技	ラグビー 男子(7s)	ラグビー 男子(7s)	ボクシング 男子	ボクシング 男子	フェンシング 男女
選手団合計	20	20	20	20	20

5 国体派遣関係

(1) 第39回九州ブロック大会

- ①夏季大会
- ・期日: 7月13日～14日: テニス競技他4競技
- ・5月26日: カヌー競技(スラローム・ワイルドウォーター)
- ・7月6日～7日: 体操(新体操)他1競技
- ・7月19日～22日: 水泳競技(水球)他3競技
- ・場所: 佐賀市他2市2町及び県外開催1市1町
- ・選手団: 辛木秀子(常務理事)団長他 本部役員5人、選手: 監督168人
- ・競技数: 10競技(56種目)
- ・代表権獲得数: 6競技(22種目)
- ②秋季大会
- ・期日: 8月17日～18日: ウエイトリフティング競技他11競技
- ・8月11日～12日: サッカー競技
- ・8月23日～26日: ボクシング競技他7競技
- ・8月31日～9月1日: ハンドボール競技
- ・場所: 佐賀市他8市2町及び県外1市
- ・選手団: 西村浩二(専務理事)団長他 本部役員13人、選手: 監督551人
- ・競技数: 21競技(69種目)
- ・代表権獲得数: 18競技(24種目)
- ③冬季大会
- ・期日: 12月7日(土)～8日(日) アイスホッケー競技他: 福岡県福岡市
- ・選手団: 原 孝弘(事務局長)団長 他 本部役員1名、選手: 監督30名
- ・競技数: 1競技(2種目)
- ・代表権獲得数: 1競技(1種目)

(2) 第74回国民体育大会

- ・期日: 9月28日～10月8日: 陸上競技他 37競技
- ・会期前実施: 9月7日～16日: 水泳競技他2競技
- ・場所: 茨城県内2市5町1村
- ・選手団: 顧問1名を含む平塚隆博団長他 本部役員29人、監督: 選手417人
- ・出場競技: 陸上競技他 34競技
- ・成績: 天皇杯(男女総合成績) 29位 879点
- ・皇后杯(女子総合成績) 34位 489点

(3) 第75回国民体育大会冬季大会報告

- ・期日: スケート・アイスホッケー競技会: 1月29日～2月2日
- ・スキージャンプ: 2月16日～19日
- ・場所: スケート・アイスホッケー競技会: 青森県八戸市他1市1町
- ・スキージャンプ: 富山県富山市他1市
- ・選手団: スケート・アイスホッケー競技会: 本部役員4名、監督: 選手25名 計29名
- ・スキー競技会: 本部役員3名、監督・選手12名 計15名
- ・成績: 天皇杯(男女総合成績) 36位 30点
- ・皇后杯(女子総合成績) 30位 20点

(4) 国民体育大会本部役員帯同ドクター

- ・本会医・科学専門委員会委員3人(医師)を第74回

- 国民体育大会(2人)並びに第75回国民体育大会冬季大会(2人)へ派遣

<国民体育大会の成績推移>

開催年 大会	平成27年度 第70回	平成28年度 第71回	平成29年度 第72回	平成30年度 第73回	令和元年度 第74回
開催県	和歌山県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県
総合得点	1038.5点	899.5点	903点	915.5点	879点
天皇杯	18位	31位	29位	26位	29位
皇后杯	21位	22位	24位	27位	34位

<スポーツ医学専門委員会>

1 会議開催(県スポーツ協会)

(1) 専門委員会

- ①第1回(6月6日: 水前寺共済会館/委員12名出席)
- ・平成30年度事業報告・事業決算
- ・競技スポーツ振興事業医学科学サポート事業及びトレーニング部会関連について
- ②第2回(10月29日: 水前寺共済会館/委員7名出席)
- ・強化専門委員会と合同会
- ・令和元年度事業経過概要
- ・令和元年度「紀要」について
- ③第3回(2月12日: 水前寺共済会館/委員9名出席)
- ・強化専門委員会と合同会
- ・令和2年度「国体関連」について
- ・令和2年度目標順位について
- ・令和2年度AT養成講習会について

(2) トレーナー部会(6月6日: くまもと県民交流館バレア部会員30名参加)

- ・国体等トレーニング帯同計画及びトレーナー研修会について

2 会議開催(日本スポーツ協会等)

(1) 第74回国民ドクターズ・ミーティング(9月27日: 茨城県・委員会委員1人出席)

- ・国体における医療救護体制、アンチ・ドーピング活動等について

(2) JSPO 加盟団体スポーツドクター代表者協議会(3月7日: 東京都)

- ・新型コロナウイルス感染症対策にて中止
- ・アンチ・ドーピングに関する最新の動向、大規模スポーツ大会における医療体制の整備

(3) アスレティックトレーナー連絡会議(12月14日: 東京都・トレーナー部会長出席)

- ・日本スポーツ協会からの情報提供
- ・国体に向けた活動報告及びAT 活性化活動の事例

(4) JADA 研修会

- ①国民体育大会に向けたアンチ・ドーピング講師養成講習会(6月20日: 東京都/事務局1人出席)
- ・国体におけるアンチ・ドーピング教育・啓発活動について
- ②アンチ・ドーピング定期研修会(7月5日: 東京都/事務局1人出席)
- ・アンチ・ドーピングに関する基本ルール

3 講習会・研修会(日本スポーツ協会関係)

- (1) JSPO 公認スポーツドクター養成講習会
- ・本県ドクター3名推薦 ※現在受講中
- (2) JSPO 公認アスレティックトレーナー養成講習会
- ・本会トレーナー部会員2人推薦。1人受講決定。 ※現在受講中
- (3) JSPO 公認スポーツドクター一研修会
- ・公認スポーツドクターにおける義務研修会、全国3ブロック(東地区・中地区・西地区)において令和元年6月～2年2月期に開催。その他、日本臨床スポーツ医学会・日本整形外科学会・日本スポーツ医学学会等、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、チームドクター・トレーナーMTGも対象として実施。

4 事業関係

(1) スポーツトレーナー等大会派遣事業

- ①九州ブロック大会(佐賀県)への派遣トレーナー
- ・トレーナー部会員から6人を6競技(剣道・ラグビーフットボール・卓球・軟式野球・テニス)へ派遣
- ②国民体育大会(茨城県)への派遣トレーナー
- ・トレーナー部会員から9人を9競技(水泳・陸上・ハンドボール・フェンシング・ボート・バスケケットボール・ボクシング・ウエイトリフティング・バドミントン)へ派遣
- (2) トレーナー研修会(12月18日: くまもと県民交流館バレア部会員等35人出席)
- ・講演: アスリートの疲労について ～オーバーートレーニングの予防と対処～
講師: 川原 貴氏(公益財団法人日本スポーツ協会スポーツドクター部会長)

(3) 国民体育大会ドクター帯同<本部役員派遣>

- ・開会式前日に開催される「ドクターズ・ミーティング」に参加 ※前項参照

(4) メディカルチェック事業

- ①基本健康調査票(アンケート形式)の配付・回収
- ・競技力向上対策概要説明会(4月18日開催)時に調査票配付
- ※対象者: 国民体育大会並びに九州ブロック大会参加選手及び候補選手等
- ②基本健康調査判定会の実施(7月9日: アークホテル熊本・医学関係者11人出席)
- ③メディカルチェックの実施(8月3日: 熊本市ヘルスケアセンター/受診者51人)
- ④メディカルチェック判定会の実施(8月8日: アークホテル熊本・医学関係者9人出席)
- ⑤メディカルチェック総括会議の実施(10月29日: 水前寺共済会館) ※医学専門委員会開催時

(5) 医学サポート事業

- ①心理サポート事業
- ・スポーツ指導者等のためのメンタルトレーニング講習会
- ・日時: 2月22日: ホテル熊本テラサ
- ・実施者: 橋本 公雄氏(熊本県大学学シニア客員教授)
- ・参加者: 競技団体・強化指導者11人参加
- ②栄養サポート事業
- ・アンケートによる国体候補選手の栄養摂取状況把握及び分析
- ・健康基本調査時に実施
- ・運動と栄養に関する研究事業の実施
- ・実施者: 杉島 有希(至学館大学准教授)
- ・イ スポーツ指導者等のための栄養サポート講習会
- ・日時: 2月22日: ホテル熊本テラサ
- ・実施者: 前田 絵美氏(ゆのほら産婦人科医院)公認スポーツ栄養士
- ・参加者: 競技団体・強化指導者・選手等 11人参加

(6) アンチ・ドーピング教育・啓発事業

- ①ドーピング・コントロール説明会
- ・実施回数: 2回(国民体育大会に参加する熊本県選手団に対して結団式等の終了後に実施)
- ・講師: 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構・講師
- ②アンチ・ドーピング教育・啓発事業熊本県講習会(2月1日: 熊本県薬師会館/51名参加)
- ・対象者: 県下薬師会・スポーツドクター、トレーナー、競技団体役員担当者等
- ・講演: ドーピングの現状と防止教育及び啓発の重要性
講師: 山澤 文裕氏(丸紅株式会社健康開発センター所長・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構理事)

公益財団法人熊本県スポーツ協会

<アンチ・ドーピング教育・啓発事業熊本県講習会参加実績>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	49人	63人	58人	51人

(7) スポーツ指導者フォーラム (1月13日: くまもと県民交流館パレア / 231人参加)

- 講演: 女性アスリートの健康支援～パフォーマンス向上をめざして～
- 講師: 百枝 幹雄 氏 (聖路加国際病院副院長・女性アスリート健康支援委員会理事)
- ワークショップ: ジュニアスポーツ指導の実態と問題点について (第15回)
- 発表者: 山下 政弘 氏 (テニス協会)
- 杉本 孝 氏 (軟式野球連盟)
- 庭田 孝男 氏 (スポーツ少年団指導者協議会)
- <スポーツ指導者フォーラム参加実績>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	234人	219人	222人	231人

(8) 研究紀要 No.35の編集・発行

- 各種医学科学事業報告及び各種資料編集。100部作成し各関係団体に配付。

(9) スポーツドクター活動活性化事業

- 公益社団法人熊本県医師会に対して助成事業を実施。
- 事業対象: 各種スポーツ大会へのスポーツドクターを派遣する事業
- 競技団体を開催する県内研修会等に、スポーツドクターを派遣する事業
- スポーツドクターの資質向上のため、県内研修会を開催する事業
- 中央研修会 (義務研修会を除く) にスポーツドクターを派遣する事業

(IV) スポーツ少年団本部委員会

1 会議関係 (県スポーツ協会)

(1) 本部委員会

- ①第1回 (4月24日: 県民総合運動公園 / 委員2名出席)
 - ・平成30年度事業報告、決算報告について
- ②第2回 (2月13日: 水前寺共済会館 / 委員2名出席)
 - ・令和2年度事業計画 (案)・予算 (案) について

(2) 指導者協議会

- ①第1回 (7月4日: 県民総合運動公園 / 委員8名出席)
 - ・スポーツ少年団の拡充について
- ②第2回 (2月13日: 水前寺共済会館 / 委員6名出席)
 - ・令和2年度事業計画 (案)・予算 (案) について
 - ・スポーツ少年団の拡充について

(3) 市町村事務担当者説明会 (4月24日 / 県民総合運動公園陸上競技場会議室 / 市町村担当者18名出席)

- ・スポーツ少年団概要説明、事業内閣、登録手続き

2 会議関係 (九州ブロック 幹事県:福岡県 / 開催県:熊本県)

(1) 連絡協議会 (4月22日～23日: 熊本県 / 本部長、指導協議会長、担当者)

- ・平成30年度日本スポーツ少年団常任委員会の報告
- ・連絡協議会平成30年度決算 (案)、令和元年度予算 (案)

(2) 指導者研究協議会 (11月17日～18日: 熊本県 / 指導協議会長、事務局)

- ・日本スポーツ協会スポーツ指導者制度の改定について
- ・九州ブロックスポーツ少年団競技別交流大会について
- ・講演Ⅰ: 今後のスポーツ少年団指導者制度について
- ・講師: 駒田 淳 氏 (日本スポーツ協会少年団課)
- ・講演Ⅱ: 陸上三段跳び日本一から車いす陸上へ
- ・講師: 中尾 有沙 氏 (株式会社祐和会)

(3) 日本スポーツ少年団九州ブロック会議 (1月30日～31日: 熊本県 / 本部長、指導協議会長、事務局)

- ・令和2年度事業計画・予算について
- ・日本スポーツ少年団指導者制度の改定について
- ・九州ブロックスポーツ少年団競技別交流大会について

3 会議関係 (日本スポーツ少年団)

(1) 委員会

- ①第1回 (6月1日: 東京都 / 代表委員 (本部長) 出席)
 - ・平成30年度日本スポーツ少年団事業報告及び決算について
 - ・令和元年度日本スポーツ少年団事業計画及び要望予算の編成について
- ②第2回 (2月29日: 東京都) ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。書面決議に変更
 - ・日本スポーツ少年団の名称について
 - ・各種規定の改定について
 - ・令和2年度事業計画・予算について

(2) 指導者協議会 (6月14日～15日: 東京都 / 指導者協議会会長出席)

- ・第10次育成6か年計画・アクションプラン2019-について
- ・日本スポーツ協会指導者制度改定の方向性について

(3) 事務担当者会 (4月25日: 東京都 / 事務局1名出席)

- ・令和元年度各事務手続きについて

4 スポーツ交流事業

(1) 県大会

- ①ソフトボール大会 (6月8日～9日: 県民総合運動公園 / 9チーム参加)
 - ・成績: 1位 三角小ソフトボールクラブ (宇城市)
 - 2位 小坂ジュニアソフトボールクラブ (御船町)
 - 3位 深海玉ソフトボールクラブ (天草市)

<ソフトボール大会の参加状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加回数	9回	9回	6回	9回
参加団員数	133人	138人	91人	142人

- ②軟式野球大会 (6月16日・22日・23日: 県民総合運動公園 他 / 32チーム参加)
 - ・成績: 1位 ガッツ少年野球クラブ (八代市)
 - 2位 不知火ファイターズ (宇城市)
 - 3位 荒尾スラガーズ (荒尾市)・山鹿少年野球クラブ (山鹿市)

<軟式野球大会の参加状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加回数	32回	32回	32回	32回
参加団員数	537人	565人	560人	538人

- ③バレーボール交流大会 (7月13日～14日 / 山鹿市体育館・熊本市立慶徳小学校 / 20チーム参加)
 - ・成績: 1位 日吉VBC (熊本市)
 - 2位 熊本中央VBC (熊本市)
 - 3位 熊本大津ジュニアバレーボールクラブ (大津町)

<バレーボール大会の参加状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加回数	21回	23回	24回	20回
参加団員数	226人	248人	262人	224人

- ④剣道 全国大会熊本県予選 (9月7日: 熊本武道館 / 小学生の部3回、中学生男子4名、女子3名参加)
 - ・成績: 小学生の部
 - 1位 合志少年剣道クラブ (合志市)
 - 2位 龍驤館スポーツ少年団 (熊本市)
 - 3位 熊本 神泉会剣道スポーツ少年団 (合志市)
 - 中学生男子の部
 - 1位 長尾 洋希 (龍驤館スポーツ少年団)
 - 2位 松本 正幸 (熊本神泉会剣道スポーツ少年団)
 - 3位 立山 翔夢 (熊本神泉会剣道スポーツ少年団)

- 中学生女子の部
 - 1位 歌野 花奏 (熊本神泉会剣道スポーツ少年団)
 - 2位 若松 楓 (龍驤館スポーツ少年団)
 - 3位 工藤 ほのみ (熊本神泉会剣道スポーツ少年団)

<剣道大会の参加状況 (平成29年度から実施)>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学生	3回	3回	3回	3回
中学生男子	2人	5人	4人	4人
中学生女子	1人	4人	3人	3人

- ⑤県小林市拳法交流大会【助成事業】 (11月3日: 水俣市総合体育館 / 県内14支部132名参加)
 - <小林市拳法大会の参加状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加回数	14回	14回	14回	14回
参加団員数	128人	141人	129人	132人

- ⑥くまもとジュニアアスレティックトライアル (12月22日: 県民総合運動公園) ※雨天中止

<ジュニアアスレティックトライアルの参加状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加回数	10回	15回	25回	20回 (予定)
参加団員数	73人	151人	258人	321人 (予定)

(2) 九州大会

- ①ミニバスケットボール交流大会 (8月9日～11日: 大分県)
 - ・本県参加: 熊本北部総合スポーツクラブ (熊本市 / 男子・女子の部)・楡木校区スポーツ少年団 (熊本市 / 男子の部)
 - ・本県成績: 男子の部 熊本北部総合スポーツクラブ＝1回戦敗退

- ②空手道交流大会 (8月17日～18日: 宮崎県)
 - ・本県参加: 拳心塾 (熊本市)・舞見館空手 (熊本市)
 - ・本県成績:
 - 小学5年生男子組手＝舞見館 山川 竜也＝準優勝
 - 小学5年生女子組手＝拳心塾 下 澤久＝3位
 - 小学6年生男子組手＝舞見館 福岡 大豊＝3位
 - 小学1年生男子組手＝舞見館 井手 心遥＝3位
 - 中学3年生男子組手＝拳心塾 山下 大地＝3位
 - 中学3年生女子組手＝拳心塾 山下 奈々＝3位
 - 中学2年生男子形＝舞見館 福原 一花＝3位
 - 小学女子団体組手＝拳心塾＝3位

- ③剣道交流大会 (8月10日～12日: 福岡県)
 - ・本県参加: 龍驤館 (熊本市 / 小学生の部)・中学生の部)
 - ・本県成績: 小学生の部＝龍驤館＝3位

- ④軟式野球交流大会 (8月23日～25日: 長崎県)
 - ・本県参加: ガッツ少年野球クラブ (八代市)・不知火ファイターズ (宇城市)
 - ・本県成績: ガッツ少年野球クラブ＝1回戦勝利 ※2回戦以降雨天中止

- ⑤ソフトボール交流大会 (8月23日～25日: 佐賀県)
 - ・本県出場: 三角小ソフトボールクラブ (宇城市)・小坂ジュニア (御船町)
 - ・本県成績: 三角小ソフトボールクラブ＝予選リーグ敗退

- ⑥バレーボール交流大会 (8月16日～18日: 沖縄県)
 - ・本県出場: 熊本大津 (大津町)・熊本中央 (熊本市)
 - ・本県成績: 熊本大津＝予選リーグ敗退 熊本中央＝3位

- ⑦サッカー交流大会 (8月16日～18日: 鹿児島県)
 - ・本県出場: 出水スポーツ少年団 (熊本市)・MAROLA 亀川 (天草市)
 - ・本県成績: 出水スポーツ少年団＝2位パート1位 MAROLA 亀川＝3位パート3位

(3) 全国大会

- ①軟式野球交流大会 (8月2日～4日: 兵庫県)
 - ・本県参加: 本県出場無し ※九州1グループ輪番により長崎県出場のため

- ②ホッケー交流大会 (7月26日～29日: 栃木県)
 - ・本県出場無し

- ③バレーボール交流大会 (3月27日～30日: 岐阜県)
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
 - ・本県参加: 日吉バレーボールクラブ

- ④剣道交流大会 (3月27日～29日: 長野県)
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
 - ・本県参加: 小学生団体の部 合志少年剣道クラブ

- ・中学生男子の部 長尾 洋希 (龍驤館)
- ・中学生女子の部 歌野 花奏 (熊本神泉会)

5 研修事業

(1) スポーツ少年大会

- ①全国スポーツ少年大会 (8月1日～4日: 長崎県)
 - ・6人参加 (指導者1人・団員中学生5人)
- ②九州ブロックスポーツ少年大会 (8月10日～13日: 熊本県 / 124人参加)
 - ・本県 10人参加 (団員小学生8人、中学生2人)

(2) リーダースクール

- ①シニア・リーダースクール (8月8日～12日: 静岡県)
 - ・本県参加希望無し

- ②ジュニア・リーダースクール (3月14日～15日: 阿蘇市)
 - ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

<ジュニアリーダースクールの参加状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加回数	10回	12回	12回	8回 (予定)
参加団員数	32人	31人	28人	27人 (予定)

6 指導者講習会等

(1) スポーツリーダー兼スポーツ少年団認定員養成講習会

- (10月26日～27日: 熊本文化センター)
 - ・86人参加 / 資格認定42人、認定保留44人

<養成講習会の参加状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加回数	78人	107人	93人	86人

(2) スタートコーチ (スポーツ少年団) 関係

- ①スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター移行研修会 (全国7会場)
 - ・11月10日 愛知県1名
 - ・11月16日 福岡県1名
 - ・令和2年度から始まるスタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会の講師を養成する研修会。認定育成員対象。

- ②スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター養成講習会 (11月23日～24日: 大阪府)
 - ・本県参加なし
 - ・令和2年度から始まるスタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会の講師を養成する講習会。

(3) アクティブ・チャイルド・プログラム関係

- ①幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及促進研修会 (11月23日: 光の森町民センター / 29

- 名参加)
 - ・本会主催事業として実施。

- ②幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会
 - ・東京会場 (7月6日～7日) 宮城会場 (9月14日～15日) / 本県からの参加なし

- ③幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会修了者対象フラッシュアップセミナー (7月7日: 東京都)
 - ・本県からの1名参加

<研修会の参加状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加団員数	72人	38人	49人	29人

(4) ジュニアスポーツフォーラム (6月16日: 東京都)

- ・本県3名参加

7 リーダー会関係

- (1) 県リーダー会総会 (5月25日: 光の森町民センター / リーダー会員、事務局出席)
 - ・令和元年度事業の詳細について

- (2) 全国リーダー連絡会 (6月15日～16日: 東京都)
 - ・リーダー育成、リーダー連絡会の動向について
 - ・本県リーダー会2名参加

- (3) 九州ブロックリーダー研究大会 (10月19日～20日: 鹿児島県)
 - ・アクティブ・チャイルド・プログラムについて

8 国際交流事業

- (1) 日独スポーツ少年団同時交流事業
 - ①受入事業 (7月23日～8月8日: 全体 / 7月25日～29日: 水俣市)
 - ・ドイツ団9人を水俣市に受入。民泊活動、スポーツ交流、文化交流を実施。
 - ②派遣事業 (7月31日～8月17日: ドイツ各地)
 - ・本県参加希望なし

9 日本スポーツ少年団顕彰事業

- (1) 市町村表彰: 推薦団体なし (該当市町村辞退のため)
- (2) 指導者表彰: 推薦者なし

10 登録状況

- (1) 単位団数 熊本県: 221 団 (前年度 192 団: 比+ 29 団)
- (2) 指導者数 熊本県: 798 人 (前年度 688 人: 比+ 110 人)
- (3) 団員数 熊本県: 3906 人 (前年度 3206 人: 比+ 700 人)

<登録者の状況>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
単位団数	177 団	189 団	192 団	221 団
指導者数	611 人	667 人	688 人	798 人
団員数	2776 人	3193 人	3206 人	3906 人
対象人口加入率	0.93%	1.07%	1.07%	1.3%
同上 (幼児～小学生)	2.64%	3.05%	3.04%	4.49%

(V) 財務特別委員会

1 会議関係

(1) 財務特別委員会

- ①第1回 (7月19日: ANAクラウンプラザホテル熊本・ユースカイ / 委員出席35人)
 - ・財務特別委員会委員について
 - ・免稅募金の目標金額及び活動計画について
 - ・寄附金に係る充当事業並びに収支予算について

- ②第2回 (12月5日: 県民総合運動公園陸上競技場会議室 / 出席51人)
 - ・第2回理事会に引き続き開催。会議終了後、女子ハンドボール世界選手権観戦。
 - ・免稅募金及び100円募金の実績経過報告について
 - ・免稅募金の目標金額及び活動計画について
 - ・上半期事業報告について

- (2) 企画会 (6月14日: 水前寺共済会館 / 出席8人)
 - ・財務特別委員会委員について
 - ・免稅募金の目標金額及び活動計画について
 - ・寄附金に係る充当事業並びに収支予算について
 - ・免稅募金趣意書について
 - ・免稅募金・100円募金ポスター及びリーフレットの選定について

2 事業関係

(1) 企業・団体等訪問 (150か所)

(2) 100円募金活動

- ①街頭募金活動 (1月11日: 熊本市街 / 募金額30,585円)
- ②優勝祝賀会 (1月11日: ホテル日航熊本 / 募金額48,119円)
- ③各加盟団体での取り組み (募金額: 54加盟団体 / 3,432,489円)

(3) 周知ポスターの作成

- ①免稅募金ポスター: 300部作成後、各協賛団体等へ配付
- ②100円募金ポスター: 200部作成後、加盟団体等へ配付

- (4) 協賛社 (団体) ロゴマーク活用事業 (69企業・団体)
 - ・10万円以上の寄附社 (団体) を対象に、本会の活動を支える支援企業、団体として社名ロゴマークを本会の各種印刷物やホームページ等を活用し広く周知する。

3 募金実績

(1) 免稅募金: 24,060,000 円 (242件)

平成27年	平成28年	平成29年
277件	273件	264件
23,480,000円	23,150,000円	23,710,000円

平成30年	令和元年
260件	242件
23,592,000円	24,060,000円

- (2) 100円募金: 3,678,614 円 (加盟団体3,432,489円・事務局246,125円)

平成27年	平成28年	平成29年
75団体	65団体	67団体
4,964,829円	4,633,951円	4,392,026円

平成30年	令和元年
66団体	62団体
4,742,927円	3,678,614円

令和2年度事業報告

(Ⅰ) 総務常任委員会

<総務常任委員会>

1 会議関係 (熊本スポーツ協会関係)

(1) 評議員会

- ・定時 (6月12日：熊本市／評議員)
- ・令和元年度事業・決算報告について
- ・臨時 (3月12日：熊本市／評議員)
- ・熊本県民体育祭について

(2) 理事会

- ・第1回 (5月28日：熊本市／理事・監事)
- ・令和元年度事業・決算報告について
- ・国民体育大会本部役員編成について
- ・県スポーツ協会表彰について
- ・第2回 (6月15日：熊本市／理事・監事)
- ・*新旧役員懇親会実施
- ・専務理事・常務理事・各委員会の構成について
- ・臨時 (12月3日：熊本市／理事・監事)
- ・臨時評議員会の開催について
- ・スポーツ振興くじ助成事業について
- ・第4回 (2月25日：熊本市／理事・監事)
- ・令和3年度事業計画・予算について
- ・熊本県民体育祭について

(3) 役員会

- ・第1回 (5月21日：熊本市／常務理事以上の理事)
- ・第2回 (7月22日：熊本市／常務理事以上の理事)
- ・第3回 (11月20日：熊本市／常務理事以上の理事)
- ・第4回 (2月18日：熊本市／常務理事以上の理事)
- ・*理事会等の審議事項について

(4) 常務委員会

- ・第1回 (4月24日：熊本市／総務常任委員会委員)
- ・令和元年度総務関係事業・決算報告について
- ・第2回 (6月30日：熊本市／総務常任委員会委員)
- ・委員長・副委員長について
- ・総務関係事業及び予算について
- ・第3回 (2月12日：熊本市／総務常任委員会委員)
- ・令和3年度事業計画・予算について
- ・(5) 定期監査 (5月14日：県民総合運動公園陸上競技会場講堂／監事)

2 会議関係 (熊本スポーツ協会関係)

(1) 定時評議員会 (6月19日：東京都／本会選出評議員)

- ・令和元年度事業・決算報告について

(2) 加盟団体代表者会議 (3月17日：東京都／本会代表役員)

- ・令和3年度事業計画・予算について
- ・スポーツインテグリティについて

(3) 国体連絡会議 (3月17日：東京都／本会代表役員)

- ・国民体育大会の今後の取組について

3 会議関係 (都道府県体育・スポーツ協会連合会関係)

(1) 総会 (3月16日：東京都／専務理事)

- ・令和元年度事業及び会計報告について
- ・令和2年度事業計画及び予算について

(2) 西地区事務局長研修会 (11月18日～19日：長崎県／事務局長)

- ・西地区 (17県) 事務局長による研修会

(3) 事務局職員研修会 (11月22日～4日：三重県／事務局職員)

- ・47都道府県体育協会職員による研修会

4 会議関係 (九州地区体育・スポーツ協会連絡協議会関係)

(1) 連絡協議会

- ・第1回 (4月9日～10日：沖縄県／専務理事・事務局長他)
- ・令和元年度報告 (事業・決算、令和2年度計画 (事業・予算)

(2) 九州ブロック大会報告・令和3年度計画

5 事業関係

(1) 加盟団体長・理事長会 (1月9日：熊本市／加盟団体長・理事長)

- ・本会の事業推進に向けた組織的な連携強化と相互理解を図り、スポーツに対する意識を高めるとともに、更なる連帯感を深めるため実施

(2) 国際・全国スポーツ大会優勝祝賀会 (1月9日：熊本市／優勝者、加盟団体等)

- ・令和2年 (1月～12月) に各種全国・国際大会で優勝した個人・団体の栄誉を称え、加盟団体と共に祝福するために実施

(3) 広報活動

- ・県民のスポーツに対する意識の高揚を図るため、スポーツ情報や本会の活動状況を広く発信するため、会報誌の発行等を行う

① 会報誌：年2回 (12月・3月) 各2000部発行

② ホームページ：年4回 (6月・9月・12月・3月) 更新

③ 情報提供欄は随時更新

- ・規程集・名簿集の作成：本会役員並びに加盟団体及び関係機関等に配付 (隔年作成)

(4) 親善ゴルフ大会

- ・加盟団体の親和を図り、更なる親睦を深めることを目的に開催 (2回)

① 県スポーツ協会親善ゴルフ大会 (11月24日：会場未定／県ス協役員、協賛団体・加盟団体)

② 会長杯ゴルフ大会 (2月6日：会場未定／県ス協役員、協賛団体・加盟団体)

(Ⅱ) 地域スポーツ常任委員会

1 地域スポーツ常任委員会

- ・第1回 (4月27日：熊本市／地域スポーツ常任委員)
- ・令和元年度事業・決算報告について
- ・第2回 (7月1日：熊本市／地域スポーツ常任委員)
- ・委員長及び副委員長の互選について
- ・県民スポーツ専門委員会及び総合型地域スポーツ専門委員会の構成について
- ・第3回 (11月4日：熊本市／地域スポーツ常任委員、県民スポーツ専門委員) ※合同会
- ・日本スポーツ協会スポーツ指導者資格の説明について
- ・県民体育祭について
- ・令和3年度事業計画・予算について

<県民スポーツ専門委員会>

1 会議関係 (熊本県スポーツ協会関係)

(1) 専門委員会

- ・第1回 (7月1日：熊本市／県民スポーツ専門委員)
- ・日本スポーツ協会スポーツ指導者資格の説明について
- ・県民体育祭について
- ・第2回 (11月4日：熊本市／県民スポーツ専門委員、地域スポーツ常任委員) ※合同会
- ・日本スポーツ協会スポーツ指導者資格の説明について
- ・県民体育祭について

2 会議関係 (県民体育祭関係：第75回玉名荒尾大会)

- ・第1回 (11月4日：熊本市／各都市代表者、関係競技団体)
- ・参加団体の確認
- ・総合社会連合会実施
- ・第2回 (9月2日：熊本市／各都市代表者、関係競技団体)
- ・選手変更の確認について
- ・第3回 (7月5日：熊本市／玉名荒尾大会実行委員会総会 (4月・11月予定)
- ・第4回 (7月6日：熊本市／玉名荒尾大会準備委員会総会 (8月予定)

3 会議関係 (日本スポーツ協会関係)

- ・(1) 都道府県事務担当者会 (4月<現在 JSPO 調整中>：東京都／事務局指導者養成担当者)
- ・令和2年度事業概観及び各種手続きの説明
- ・(2) 全国スポーツ指導者連絡協議会 (12月<現在 JSPO 調整中>：東京都／本県代表委員)
- ・各都道府県及び中央競技団体の指導者養成に関する代表者が一堂に会し、各会議の報告や今後の取り組みについて協議
- ・事務局からの伝達事項及び指導者養成について協議

4 事業関係

- ・第75回熊本県民体育祭 (9月19日～20日：荒尾市・玉名市・玉名郡)
- ・参加人員：加盟地域体育協会の監督選手・役員総数約8,000名 (公開競技を除く)
- ・競技：球技種目24種目、公開競技9種目
- ・趣旨：広く県民にスポーツを普及し、県民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、明るく豊かな県民生活の進展に寄与する。

(2) 日本スポーツマスターズ2020 愛媛大会 (9月18日～22日：愛媛県)

- ・*水泳競技：9月5日～6日、自転車競技：9月11日～13日、ゴルフ競技：9月9日～11日

- ・趣旨：競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典。お互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯スポーツのより一層の普及・振興を図り、生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与する。

- ・*各競技派遣者のとりまとめは、各競技団体が行う。

- ・主催：日本スポーツ協会、愛媛県、愛媛県体育協会

- ・実施競技：水泳・サッカー・テニス・バレーボール・バスケットボール・自転車競技・ソフトテニス・軟式野球・ソフトボール・バドミントン・空手道・ボウリング・ゴルフ (13競技)

(3) 日中成人スポーツ交流事業 <スポーツ庁庫補助事業／令和2・3年度実施>

- ・日本と中国の日中外交正常化35周年を記念し、2007年を「日中文化・スポーツ交流年」とし、これを契機として、両国における生涯スポーツに親しむ成人を対象としたスポーツ交流を実施することにより、日中両国の親善と友好をさらに深めると共に両国のスポーツ振興を図る。

- ・交流方式：日中両国の成人団員 (30歳～65歳) が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式。

- ・主催：公益財団法人日本スポーツ協会

- ・主催：公益財団法人熊本県スポーツ協会及び関係中央競技団体

- ・期日：派遣：5月25日～29日：中国四川省 受入／11月27日～12月1日：熊本県

- ・実施競技：テニス・バスケットボール・卓球・バドミントン (4競技：日中各6人1人)

(4) 熊本県スポーツ指導者研修会 (6月7日：熊本市)

- ・参加者：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有者250名以上

- ・趣旨：公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進のため、指導者のニーズに応じた講演または研究発表、新たな課題説明や指導者相互の情報交換のための研究協議等による研修会を開催する。

(5) 公認スポーツ指導者全国研修会 (12月<現在 JSPO 調整中>：東京都)

- ・参加者：本県からは指導者協議会代表 (2名) 及び指導者養成担当者出席

- ・内容：特別講演、シンポジウム、ワークショップ等

- ・趣旨：スポーツ指導者としての研鑽を深めるとともに、全国の指導者と公認スポーツ指導者の関する情報を共有・交換する。

(6) 日本スポーツ協会公認コーチ1養成講習会

- ・趣旨：地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき、安全効果的な活動を提供するための指導者を養成する。専門科目と共通科目の各カリキュラム修了者に資格が付与。

- ・受講条件：原則、満18歳以上の者。<競技団体が定める条件あり。>

- ①専門科目

- ・期日：開催する競技団体の設定による。

- ・開催形態：競技団体による集合講習会／講習時間：20時間以上

- ・参加料：14,000円 (別途必要経費がかかる場合がある。)

- ・実施団体：競技団体独自事業 (委託なし)／バレーボール

- ②共通科目Ⅰ

- ・開催時期：当該年度の6月から翌年3月

- ・開催形態：NHK K学園による通信講座を各自受講／35時間以上

- ・参加料：19,800円

(7) 日本スポーツ協会公認コーチングアシスタント養成講座 (=共通科目Ⅱ)

- ・趣旨：地域におけるスポーツグループやサークル等において、上位資格者を補助する者として、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる公認指導者の基礎資格として養成

- ・受講条件：受講する年の4月1日現在、満18歳以上の者。

- ・開催形態：NHK K学園の通信講座コースとして実施／35時間以上

- ・経費：35,000円

- ・期間：年4回募集 (春期、夏期、秋期、冬期)

- ・申込方法：指導者マイページから受講申し込みを行う。

(8) 地域スポーツ普及事業 (助成)

- ・市町村における地域住民のスポーツ普及活動の事業に対し、その経費の一部を助成し都市体育協会の発展に寄与する。

- ・助成対象団体：本会加盟の20地域体育協会

(9) スポーツ交流開設事業／アクティブチャイルドプログラム (ACP) 普及事業

- ・子どもたちの体力づくりやコミュニケーション能力の向上などを目的に、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団と連携し、県内の地域体育協会並びに小中学校等にACP普及講座を派遣する。

- ・開催予定：県内12教室開設

(10) 熊本県スポーツ指導者協議会活動推進事業 (助成)

- ・県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者を会員として組織する「熊本県スポーツ指導者協議会」の活動を支援することにより、公認スポーツ指導者相互の連携、社会認知度及び信頼の向上を図り、より安全で充実したスポーツ指導ができる指導者を養成するために熊本県スポーツ指導者協議会の活動に対し助成を行う。

- ・助成対象団体：熊本県スポーツ指導者協議会

(11) 加盟団体組織強化事業 (助成)

- ・免除：100円募金還元事業 (協力加盟団体へ100円募金全額及び免除募金半額を還元)

- ・団体実施競技外助成事業 (9競技団体助成 ※高等学校野球含む)

5 表彰関係

(1) 熊本県スポーツ協会表彰事業

- ・本県スポーツ振興に顕著な功績があった個人並びに団体の栄誉を称え、スポーツ功労者、スポーツ優秀者、スポーツ優良団体の表彰式を実施する。

- ・表彰日時：9月19日 (県民体育祭総合会式時実施)

(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者表彰事業 (候補者推薦及び旅費補助を行う)

- ・永年にたり公認スポーツ指導者として、顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、今後の公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資する。

- ・被表彰者旅費補助：表彰授与式に出席する被表彰者に対し旅費を補助 (2万円)

- ・表彰日時：2021年2月中旬<JSPO 日程調整中> (東京都)

(3) 2020年度ミス・スポーツモデル賞 (候補者推薦)

- ・優秀なスポーツ指導者等を顕彰することにより、その功に報いるとともに他の指導者の励みとし、わが国選手強化のより一層の発展、スポーツ振興の充実を図ることを目的とする。

- ・表彰日時：2021年4月予定

<総合型地域スポーツクラブ専門委員会>

1 会議関係

- ・(1) 専門委員会

- ・第1回 (7月1日：熊本市／総合型地域スポーツクラブ専門委員会委員)

- ・令和元年度 (2019年度) 事業報告・決算について

- ・第2回 (2月8日：熊本市／総合型地域スポーツクラブ専門委員会委員)

- ・令和3年度事業計画・予算について

- ・(2) アドバイザーミーティング (5月28日～5月29日：東京都／アドバイザー)

- ・アドバイザーの業務確認及び資質向上に関する会議

- ・(3) スタートアップ会議 (5月30日：東京都／アドバイザー)

- ・前記：自立支援事業に関する説明会

- ・(4) 全国スポーツクラブ会議 (5月26日～27日：東京都／事務局)

- ・熊本県総合型クラブが一堂に会し、情報交換及び共有を行う会議

2 事業関係

- ・(1) ヒアリング活動

- ・総合型地域スポーツクラブの普及・啓発のため、総合型クラブが未設置である「未育成町」への訪問を行い、地域スポーツの振興に係る状況の把握やクラブ創設に係る情報提供を行う。

- ・既に総合型クラブが活動している「既設置市町村」へは、クラブとの連携強化や課題の把握等を行うため訪問し、情報提供並びに情報収集を行う。併せて人口に対して設置数が少ない市町村には更なる増設を求めたい。

- ・設立準備団体、活動クラブに対しては訪問し、クラブの経営状況や課題の把握を行い、安定・継続的なクラブ運営ができるよう指導・助言を行う。

- 未育成町村訪問 錦町／南小国町／五木村／西原村 <2町

- 2村：計12回>

- 設立準備団体 天草市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 <4回>

- 西原倶楽部設立準備委員会 <4回>

- 活動クラブ訪問 県内69クラブ <内30クラブ程度>

(2) 地域スポーツマネジメント講習会 (6月27日～28日：熊本市／30名程度)

- ・総合型地域スポーツクラブに関する知識を深め、「クラブマネージャー」として適切なクラブ運営のスキルを身に付けることを目的とし、講習会を実施する。なお、本講習会は日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー資格の専門科目となる。

(3) 地域スポーツ指導者研修会 (2月7日：県南地域)

- ・県教育委員会の委託事業で各生涯スポーツ行政担当者やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ指導者、スポーツ少年団指導者等、地域スポーツの振興に携わるうえで指導者としての資質向上、指導者の育成・養成を目的として研修会を開催する。

(4) 地域スポーツ振興 講師等派遣事業

- ・スポーツ振興くじ助成事業を活用し総合型クラブ並びに設立準備団体及び本会加盟団体を対象に、県内アドバイザーやスポーツドクター、スポーツトレーナー、公認資格保有指導者等を講師として派遣し、実技指導や研修、講義を行い、各団体が行う事業の活性化と支援体制の充実を図る。

- ・派遣予定：県内6団体

(5) 熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動推進事業 (助成)

- ・「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」の活動支援を行うことにより、県内総合型クラブの活動支援及び情報共有並びにクラブ間の相互の連携を図り、スポーツ活動の推進を図る。

(6) スポーツ指導者等と地域のマッチング・情報提供事業

- ・地域から要望があったスポーツ指導者やスポーツ関係の講師について、本会加盟団体と本会役員と連携し、マッチング・情報提供を積極的に行う。

3 県内クラブ交流事業

- ・県教育委員会からの委託事業で、総合型地域スポーツクラブの啓発を目的に熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と協力し、県内クラブ交流事業を行う。

(1) 実行委員会

- ・大会の円滑な開催に向けて、熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会関係者で3回程度の会議を行う。

(2) 交流関係 (日程及び会場未定：県内総合型地域スポーツクラブ)

- ・県内総合型地域スポーツクラブの活動を県内に広く周知するとともに、各クラブの更なる普及と互いの連携を促進するため、スポーツイベントを実施。

4 SC全国ネットワーク関連

- ・総合型地域スポーツクラブ全国協議会 (SC全国ネットワーク) とは、総合型クラブの円滑な運営や更なる定着・発展を目的とした全国組織。ネットワークアクションは、SC全国ネットワークと日本スポーツ協会が主催となり、全国9ブロックで情報共有・課題解決等を目的に開催。

- (1) 総会 (2月末予定：東京都／代表委員)

- (2) 九州ブロックネットワークアクション2020 実行委員会 (7月3日：長崎県)

- (3) 九州ブロックネットワークアクション2020 (11月21日～22日：長崎県)

(Ⅲ) 競技スポーツ常任委員会

1 競技スポーツ常任委員会

- ・第1回 (4月27日：熊本市／競技スポーツ常任委員)

- ・令和元年度事業・決算報告について

- ・第2回 (7月2日：熊本市／競技スポーツ常任委員)

- ・委員長・副委員長について

- ・競技スポーツ関係事業及び予算について

- ・第3回 (2月9日：熊本市／競技スポーツ常任委員)

- ・令和3年度事業計画・予算について

<強化専門委員会>

1 会議関係

- ・(1) 専門委員会

- ・第1回 (10月27日：熊本市／強化専門委員会委員)

- ・国民体育大会の競技成績等について

- ・競技力対策研修会について

- ・第2回 (2月9日：熊本市／強化専門委員会委員)

- ・令和3年度「国体関連」について

- ・令和3年度「国体開催」について

(2) 九州ブロック体育協会の説明会 (4月16日：熊本県立総合体育館)

- ・基本方針・実施要項及び各種事業要領について

- ・事業費の配分について

- ・助成金交付要項について

- ・スポーツ医科学対策事業、熊本県スポーツ協会自主事業について

2 事業関係 (競技スポーツ振興事業関係)

(1) 競技力向上対策事業

- ・国民体育大会をはじめとした各種大会に向けた選手強化と各競技の底辺拡大・強化を図ることを目的として実施し、本県と競技力向上と競技スポーツの普及・振興に資する。

- ①競技力向上対策事業 (小・中学生) ※タレント発掘・普及事業含む

- ②強化指導者研修派遣事業 (中央研修、企業・大学連携)

- ・事業推進のため、競技力分析の情報収集及び視察激励等の事業を行う。

善スポーツ交流大会に本県選手団を遣し、スポーツを通して両国の友好親善を深めるとともに、本県の競技力向上を図る。
・実施期間：6月25日～28日
・対象者：本県及び韓国の高等学校／各国20名（含む本部役員）
・競技団体：フエンス（男子・女子）

4 国際派遣関係

・国民体育大会並びにその予選会となる九州ブロック大会の大会実施要綱及び規則等に基き、本県選手団を編成し派遣する。

(1) 第40回九州ブロック大会

①夏季大会（5月24日～7月19日：10競技開催）

・場所：沖縄県那覇市他

②秋季大会（8月14日～29日：21競技開催）

・場所：沖縄県那覇市他

③冬季大会（12月5日～6日：アイスホッケー競技）

・場所：福岡県福岡市

(2) 第75回国民体育大会

・本大会（10月3日～10月13日：陸上競技他36競技／鹿児島県）

・会期前（9月12日～20日：水泳他3競技／鹿児島県）

・結団式（9月24日：熊本市）

・知事報告会（10月28日：熊本県庁）

(3) 第76回国民体育大会冬季大会

・スケート・アイスホッケー競技会（1月27日～1月31日：愛知県・岐阜県）

・スキー競技会（2月18日～21日：秋田県）

・結団式（1月19日：熊本市）

<スポーツ医科学専門委員会>

1 会議関係（熊本県スポーツ協会）

(1) 専門委員会

第1回（7月2日：熊本市／医科学専門委員会委員）

・令和元年度事業・決算報告について

・競技スポーツ振興事業医科学サポート事業について

・トレーナー部会関連について

第2回（10月27日：熊本市／医科学専門委員会委員）

・令和2年度事業経過概要について

第3回（2月9日：熊本市／医科学専門委員会委員）

・令和3年度「団体関連」について

・令和3年度A1養成講習会開催について

(2) トレーナー部会（6月4日：熊本市／トレーナー部会委員）

・令和元年度事業報告・令和2年度事業計画について

・トレーナー研修について

2 会議関係（日本スポーツ協会）

(1) スポーツ団体代表者協議会（3月予定：東京都／委員長出席）

・公認スポーツドクターの連携を密にし、活動促進や相互研修・情報交換の促進

・アンチ・ドーピング活動の動向

・国民選手のメディカルチェックと医科学サポート

(2) 第75回団体ドクターズ・ミーティング（10月2日：鹿児島県委員長出席）

・医・科学サポートシステムの充実を図るための情報提供及び意見交換

・国民体育大会における医療・救護体制について

(3) アスレティックトレーナー連絡会議（1月予定：東京都／部会長出席）

・アスレティックトレーナーの連携及び活動促進・相互研修・情報交換等

・都道府県及び中央競技団体における活性化事例

3 講習会・研修会（日本スポーツ協会等関係）

(1) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会

・本会から日本スポーツ協会の募集人員に対して2人を推薦する。

（内1名登録）

(2) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会

・本会から日本スポーツ協会の募集人員に対して2人を推薦する。

（内1名登録）

(3) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター研修会

・公認スポーツドクターにおける義務研修会

・全国3ブロック（東地区：中地区・西地区）で6月～1月に開催。

・その他、日本臨床スポーツ医学会、日本整形外科学会、日本スポーツ医学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、チームドクター研修会2020も対象として実施。

4 事業関係

(1) スポーツトレーナー等大会派遣事業

・国民体育大会において優秀な成績を収めるため、スポーツ医科学の知識と技術をもつ、実践できるトレーナー等を国民体育大会やブロック大会に派遣し、選手の応急処置や健康管理等のコンディショニングを図ることにより効果的な競技力の向上を図る。また、トレーナーの育成と資質の向上を目指し、研修会を実施する。

①九州ブロック大会（沖縄県）への派遣

・九州ブロック大会参加競技団体の申請を基に内容を精査し、トレーナー部会を派遣する。

②国民体育大会（鹿児島県・愛知県・岐阜県・秋田県）への派遣

・国民体育大会参加競技団体の申請を基に内容を精査し、トレーナー部会を派遣する。

③トレーナー研修会（12月16日：熊本市／トレーナー部会委員）

・本県トレーナーの資質向上及び最新の医科学知識の共有等も目的で開催する。

(2) 国民体育大会ドクター・アスレティックトレーナー帯同本部役員派遣

・選手の応急処置や健康管理等のコンディショニングを図る、より効果的な競技力の向上を図る。また、「ドクターズ・ミーティング」に参加し、医科学の専門的な情報を共有する。

(3) メディカルチェック事業

・国民体育大会の参加資格としては、「健康診断を受け、健康であることを証明した者であること」と明記されている。国民補選の疾病を早期に発見し、発病の予防を図ることに伴い、国民体育大会の事故を未然に防ぐため、候補選手に対する健康調査（シグネットと、その結果に基づく健康診断・メディカルチェックを実施する）

①基本健康調査票（アンケート形式）の回収・配付

時期：競技力向上対策事業説明会（令和2年4月開催）で配付

対象：国民体育大会、九州ブロック大会参加選手及び候補選手等

②基本健康調査判定会の実施（7月7日：熊本市）

③メディカルチェックの実施（8月8日：熊本市）

④メディカルチェック総括会の実施（8月13日：熊本市）

⑤メディカルチェック総括会の実施（10月27日：熊本市）

第2回医科学専門委員会時に関係者のみで実施

(4) 医科学サポート事業

①心理サポート事業

・国体候補選手や指導者等を対象に効果的なメンタルトレーニングの方法等の指導を行うことにより、心理的な面から競技力の向上を図る。

・強化担当者・指導者・選手の保護者を対象としたメンタルトレーニング講習会を実施（2月20日：熊本市）

②栄養サポート事業

・国体候補選手等の栄養摂取状況等をアンケートにより把握・分析し、その結果に基づき、効果的な栄養摂取の仕方等の指導を行うことにより、競技力の向上を図る。

・強化担当者・指導者：選手の保護者を対象とした正しい栄養摂取の仕方等についての講習会を実施（2月20日：熊本市）

・アンケートによる国体候補選手の栄養摂取状況把握及び分析

・運動と栄養に関する研究事業

(5) アンチ・ドーピング教育・啓発事業

・競技者支援関係者及び国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育・啓発活動を実施することにより、競技者が、国体や学校部活動等における薬物乱用・誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進する。

①ドーピング・コントロール説明会

・実施回数：2回（国民体育大会熊本県選手団に対して結団式等の終了後に実施）

②アンチ・ドーピング教育・啓発事業熊本県講習会（1月30日：熊本県薬剤師会館）

・対象者：県下薬剤師、スポーツドクター、トレーナー、県内学校関係者等

③JADA・アンチ・ドーピング加盟団体等連絡会議（年2～3回程度：東京都）

・新年度におけるアンチ・ドーピング規定等、留意事項の詳細説明等を実施。

(6) 県民の間にスポーツを普及し、また競技力の向上を図るため、特にスポーツ医・科学分野の知識・理解を深めるため、体育スポー

ツ関係者を一堂に会し研修の場とする。併せて日本スポーツ協会公認スポーツ指導者における義務研修会として実施する。

・内容：講演及びワークショップを実施

・参加者：スポーツドクター、トレーナー、公認スポーツ指導者等

(7) 研究紀要の編集・発行

・スポーツ医・科学事業の事業内容や研究成果等を編集・冊子化し、加盟団体等に配布する。

(8) スポーツドクター活動活性化事業

・公益財団法人熊本県医師会が行う下記の事業に対して助成事業を実施する。

①各種スポーツ大会へのスポーツドクターを派遣する事業

②競技団体を開催する県内研修会等に、スポーツドクターを派遣する事業

③スポーツドクターの資質向上のため、県内研修会を開催する事業

④中央研修会（義務研修会を除く）にスポーツドクターを派遣する事業

(Ⅳ) スポーツ少年団本部委員会

1 会議関係（県内関係）

(1) 県スポーツ少年団本部委員会

第1回（4月28日：熊本市／県スポーツ少年団本部委員）

・令和元年度事業・決算報告

第2回（7月3日：熊本市／県スポーツ少年団本部委員）

・本部長及び副本部長の互選について

・熊本県スポーツ少年団指導者協議会の構成について

第3回（2月10日：熊本市／県スポーツ少年団本部委員）

・令和3年度事業計画・予算

(2) 県スポーツ少年団指導者協議会

第1回（1月30日：熊本市／県スポーツ少年団指導者協議会委員）

・スポーツ少年団の現状報告・各種方策について

第2回（2月10日：熊本市／県スポーツ少年団指導者協議会委員）

・スポーツ少年団の現状報告・各種方策について

(3) 市町村スポーツ少年団事務担当者会（4月28日：熊本市／市町村スポーツ少年団・社会体育担当者等）

・スポーツ少年団事業説明・各種手続き業務説明

・社会体育移行に伴う対応について

2 会議関係（九州ブロック）（幹事県：福岡県／開催県：鹿児島県）

(1) 九州ブロックスポーツ少年団連絡協議会（4月予定：鹿児島県本部長・指導者協議会会長・事務担当者）

(2) 九州ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会（11月予定：鹿児島県本部長・指導者協議会会長・女性指導者・事務担当者）

(3) 日本スポーツ少年団九州ブロック会議（1月予定：鹿児島県本部長・指導者協議会会長・事務担当者）

3 会議関係（日本スポーツ少年団）

(1) 委員会総会

第1回（6月上旬：東京都／本県スポーツ少年団選出委員）

・令和元年度事業・決算報告

第2回（3月上旬：東京都／本県スポーツ少年団選出委員）

・令和3年度事業計画・予算

(2) 指導者協議会（6月26日～27日：東京都／指導者協議会会長）

・第1次育成6年生部会について

(3) 都道府県事務担当者会（6月2日：東京都／事務担当者）

・令和2年度各種事業の事務手続きについて

4 スポーツ交流事業

(1) 県大会

・熊本ジュニアスポーツの活性化と団員相互の交流を促進する。また、これまでの成果を発表する場を設けるとともに、各全国大会や九州大会の本県予選会とする。

①ソフトボール大会（6月6日・7日：県民総合運動公園ソフトボール場 他）

・県ソフトボール協会及び県スポーツ少年団に登録のある20チーム（ソフトボール）に参加募集を行う。

・上位4チームから順に九州大会（長崎県）への出場資格を与える。

②軟式野球大会（6月13日・14日・20日・21日：県民総合運動公園 他）

・県内から各都市代表32チーム参加

・1位は全国大会（若手県）、2位～3位は九州大会（大分県）へ出場。

③バレーボール交流大会（7月11日～12日：山鹿市立鹿本体育館 他）

・県内から30チーム程度参加募集を行う。

・1位は全国大会（岐阜県）へ出場

④剣道大会（9月12日：熊本武道館）

・県内のスポーツ少年団登録剣道団体に募集。

・小学生団体の部と中学生個人・男女別を行う。

・各区分の1位は全国（福島県）へ出場。

⑤県少林寺拳法交流大会（助成）（11月1日：御船スポーツセンター 15支部200名参加）

(2) 九州大会（第40回九州ブロックスポーツ少年団競技別交流大会）

・団員にスポーツの喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を設け、各競技を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団員活動の活性化を図ることを目的として実施する。

①ソフトボール（開催県選択競技）（8月21日～23日：長崎県）

・本県出場枠：2チーム（県大会の上位入賞者から順に出場資格を与える。参加料補助）

・参加総数：16チーム

②サッカー（8月21日～23日：佐賀県）

・本県出場枠：2チーム（参加を希望する登録団・参加料補助）

・参加総数：16チーム

③ミニバスケツボール（8月14日～16日：沖縄県）

・本県参加枠：男女各1チーム（参加を希望する登録団・参加料補助）

・参加総数：16チーム（男子8チーム、女子8チーム）

④空手道（8月29日～30日：熊本県）

・本県参加枠：中学生計2チーム（参加を希望する登録団・参加料補助）

・参加総数：16チーム

⑤軟式野球（8月14日～16日：大分県）

・本県参加枠：2チーム（県大会の1位、2位チームが出場・参加料補助）

・参加総数：16チーム

(3) 全国大会

・団員にスポーツの喜びを経験する機会とより伸びるための研修の場を設け、各競技を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団員活動の活性化を図ることを目的とする。

①軟式野球交流大会（8月6日～9日：若手県）

・本県出場枠：参加枠は九州1グループの輪番制により熊本県出場。

②ホッケー交流大会（12月25日～28日：広島県）

・本県参加枠：男女各1チーム（県ホッケー協会会で選考）

③剣道大会（3月3日：福島県）

・県大会の小学生団体及び中学生男女各1名を派遣。（県大会優勝チーム・優勝者を派遣）

④バレーボール交流大会（3月下旬：宮城県）

・県大会優勝チームを派遣。

・女子は48チーム（全都道府県）参加。

5 研修事業

(1) スポーツ少年大会

・各都道府県または九州各県スポーツ少年団リーダー及び指導者・団員の参加のもと集団生活を行い、スポーツ文化、文化学習活動、野外活動、交歓交流活動等を通して、青少年の心身の健全な育成を図るとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図る。また、リーダーの育成を考慮したスポーツ交歓交流大会である。

①全国スポーツ少年大会リーダーアサクション2020（7月31日～8月3日：静岡県）

・本県参加枠：6名参加募集（指導者1名・団員 中学生高校生5名）

②九州ブロックスポーツ少年大会（8月8日～11日：福岡県）

・九州各県スポーツ少年団から参加

・本県参加枠：23名参加募集（指導者3名・団員小学4年生以上10名 中学生10名）

(2) リーダースクール

・スポーツ少年団の団員の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ

活動・文化学習活動等を通して、青少年の心身の健全な育成を、将来の指導者として活躍できるリーダーの養成を目指すとともに、各単位団間の交流を深め、スポーツ少年団活動の活性化を図る。

①シニア・リーダースクール（9月19日～22日：静岡県）

・本県参加枠：高校生以上の団員5名

・参加費：当該年度に団員登録をし、義務教育を終了した10歳未満者。また、シニアリーダー資格取得者または1年以上に一度に定まる活動単位取得者

②熊本県ジュニア・リーダースクール（3月20日～21日：熊本県天草市）

・スポーツ少年団員40名参加募集。

(3) 指導者講習会等

①スタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクター移行研修会（10月～11月のうち1日間：福岡県）※その他全国6会場で実施

・「認定育成員」資格取得者を対象に、2020年度から開催する「スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会」の講師を育成するための講習会として、日本スポーツ協会が実施。

②スタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクター養成講習会（10月～11月のうち2日間：大阪府）

・都道府県スポーツ少年団部長が推薦する者を対象に、2020年度から開催する「スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会」の講師を育成するための講習会として、日本スポーツ協会が実施。

③スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会

・「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度」に基づき、単位スポーツ少年団活動における指導に最低限の基礎知識を講習するため、スポーツ少年団の実技指導に携わる者を対象に実施する。

・期日：第1回（11月8日：熊本市）／第2回（1月30日：熊本市）

④ジュニアスポーツフォーラム（6月28日：東京都）

・スポーツ少年団指導者・リーダー、ジュニアスポーツにかかわる法律化・研究者、公認スポーツ指導者資格保有者等を対象に、日本スポーツ少年団が主催で開催する研修会。

(4) アクティビティプログラム関係

①幼児期からのアクティブチャイルドプログラム普及促進講習会（12月5日：新潟県）

・日本スポーツ協会及び日本スポーツ少年団が文部科学省の委託事業として実施したアクティブチャイルドプログラム（省庁連携の過程にある幼児期から小学生程度の児童を対象とした身体運動能力を高めるためのプログラム）を普及するための講習会として、スポーツ少年団関係者、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブ関係者、幼稚園・保育園等の教員、教育委員会関係者等を参加対象に実施。

②幼児期からのアクティブチャイルドプログラム講師講習会（日程会場未定※全国3会場）

・上記普及講習会の講師を育成するための講習会として日本スポーツ協会が実施。

③幼児期からのアクティブチャイルドプログラム講師講習会受講修了者対象フレッシュアップ研修会（日程会場未定※全国3会場）

総合型地域 スポーツクラブ紹介

本会では、県内の総合型地域スポーツクラブ(以下、総合型クラブと称する)の普及・育成、支援を行っています。

総合型クラブは、スポーツや文化種目を(多種目)、子どもから高齢者まで(多世代)、それぞれの志向に合わせて(多志向)活動できる仕組みであり、会費・参加費等により(受益者負担)、地域の方々の主体的な運営・経営(自主運営)により活動しています。

第2期スポーツ基本計画に掲載されているとおり、総合型クラブには「地域課題の解決」に寄与する公益的な機能を期待されており、令和4年度からは、「総合型クラブの登録・認証制度」の運用も開始される予定です。

そこで、総合型クラブのことをより多くの方々に知っていただくため、県内の総合型クラブの特色ある取組を紹介します。

県北エリア

NPO法人クラブきくよう

～小学校運動部活動の社会体育移行の
受け皿として「ジュニアきくスポ」開設！～

インタビュー:クラブマネジャー ニノ文昭子氏

NPO法人クラブきくようは、県内で最初に設立された総合型クラブです。

NPO法人化後、町からの受託事業がさらに増え、その一つとして、平成30年度末まで各小学校で行われていた社会体育の受け皿として立ち上げられた「ジュニアきくスポ」の受託も始まりました。

■ ジュニアきくスポ概要

町内在住の小学4年生～小学6年生を対象に4つの種目(サッカー・ミニバスケットボール・バドミントン・総合運動クラブ)を各小学校グラウンド及び体育館において、原則週2日16時30分～18時30分(11月～2月は16時30分～18時)の時間で活動を行い児童にとって適切なスポーツ環境を提供しています。

参加者数(男性138人、女性159人 計 297人)

参加学年(小学4～6年生)

活動曜日(月・火・木・金)各小学校活動種目になる

指導者数(スタッフ約24名)

参加費用(2,500円/月)

■ 指導の際心がけていること

- ・コミュニケーションスキルを身につける
- ・児童の話を最後まで聞く



- ・叱るより、良い点を褒めて伸ばす
- ・児童のやる気と自立心を育てるサポートをする
- ・指導者も一緒に楽しむ

■ ジュニアきくスポの活動の成果

- ・学校、学年、男女関係なく仲良く活動をしている
- ・人と人とのつながりで各種目の会員数が増加している
- ・児童の自主性によりスムーズな活動ができている

■ 今後の展望

一人でも多くの方にジュニアきくスポの活動を知っていただき、その中から指導者を発掘し、この活動を継続できるように地域全体で支えて行きたい。

■ クラブPR

ジュニアきくスポは、元気な子どもの育成、コミュニケーション能力・体力の向上、仲間づくりを目的としているクラブです。スポーツを通し自分に自信を持ち、夢や希望に向かって努力するような子どもたちのサポートができればと思います！

クラブ情報

菊陽町「NPO法人クラブきくよう」 設立年月日:平成13年4月1日
クラブ理念:地域住民に対してスポーツで健康増進、福祉、体力向上や青少年の健全を行い、世代を超えて親睦や地域の活性化を目指す。

事務局:〒869-1103 菊池郡菊陽町久保田2598
TEL:096-273-8488 FAX:096-273-8639
MAIL:office@sports-kikuyo.jp
HP:https://www.club-kikuyo.jp/

クラブこうし

～産後ヨガや親子教室の実施による子育て支援～

インタビュー:事務局 村田和美、坂田由美子

クラブこうしでは、県北エリアでは2番目に設立した歴史あるクラブの一つです。

年々人口が増加している合志市ですが、クラブこうしでは、子どもから高齢者まで、総勢637人の会員(令和2年3月末日現在)で活動をしています。

クラブでは、子育て世代にも人気な合志市エリアで、子育て

支援のプログラムとして、産後ヨガ教室や未就学児対象の親子教室を実施していますのでご紹介します。

■ プログラム概要

親子で触れ合いながら、毎日一生懸命家事や育児を頑張っているママ達が楽しく汗を流し、リフレッシュできる時間を過ごせる場所です。

■ プログラム実施の経緯

もともと、クラブでYOGAの講師であり、幼稚園の先生も経験されている先生に、親子教室などを開講したい旨相談したところ、快く引き受けてくださいました。

■ プログラム実施による会員からの声

「子どもの成長も感じることができ、同時に自分のリフレッシュになりました。」「母親も子どもと一緒に楽しめるし、先生がそれぞれの子どもの状態に応じて対応してくれて、とてもよかった。」

■ 今後の展望

親子教室なので年間を通してとなると、子どもの調子次第で参加できなくなる方がいる等、安定した参加者数が見込めないため、単発の教室として参加者を募集し、開催していく予定です。

■ クラブPR

クラブこうしは、熊本県合志市にある総合型の一つです。創立17年を迎えました。

合志市総合センターヴィーブル内に事務局を構え、合志市内の各生涯学習課の施設を拠点に年間約500名の会員様と共に活動しております。

現在、年間登録料をお一人保険料込みで6,000円と比較的お安い価格を設定しております。ファミリー割引もあり、家族でご入会いただくとさらにお得です。

各世代の方が通いやすい日程、種目をご用意しておりますので、幅広い世代の方にクラブこうしに入会していただき、複数の教室に参加していただき楽しんでいただいております。

定期的に教室に通えない方には、ビジター会員制度もおすすめて。年間登録料不要で、一回の参加料を各教室にお支払いただくことで気軽にご参加いただけます。

クラブ情報

合志市「クラブこうし」 設立年月日:平成15年4月19日
クラブ理念:地域住民の体力向上と健康の増進。幼児から高齢者までのふれあいの場としての役割を果たし、低料金において利用者に提供する。また、青少年の健全育成と地域住民の生涯スポーツの推進を図ると共に健康で連帯感溢れる街づくりに貢献することを目的とする。

事務局:〒861-1116 合志市福原2922番地
TEL:080-5202-2454 FAX:096-248-5450
MAIL:club2454club2454@yahoo.co.jp
HP:http://sougougata.jimdo.com

中央エリア

日吉地域総合型スポーツクラブ

～地域で作った憩いの場

ひよしの森グラウンドゴルフ場～

インタビュー:クラブマネジャー 寺本 隆氏

日吉地域総合型スポーツクラブは、熊本市南区の日吉中学校区エリアで活動しているクラブで、子どもから高齢者まで、総勢608人の会員(令和2年3月末日現在)で活動をしています。

熊本市で初めて設立した総合型クラブで、日吉東小学校体育館内に事務局があります。

特色として、白川河川敷に、クラブでグラウンドゴルフ場をつくり、今では地域に愛される憩いの場となっています。

■ クラブのプログラム概要

屋内競技4施設、屋外競技2施設(ナイター設備有)の合計6施設を活用して、大人対象のプログラムを13競技、子ども体調のプログラムを7競技実施しています。

毎月行う企画会議では、プログラムの行事予定の確認や報告を行っています。プログラム内容については、通年同一で行っています。

■ グラウンドゴルフ場の建設経緯

クラブ設立当初、グラウンドゴルフ協議普及に取り組み、学校施設を利用していましたが、施設利用が制限され、会員から活動日数を増やすよう要望が上がりました。校区内の区画整理用地を練習場に一時変更しましたが、水吐けが悪く雑草も多い等、環境面に問題がありました。

そこで、会員の発案で、白川河川敷を利用してはどうかとの意見が出たため、ここを管轄する関係各所へ陳情を行い、許可をいただきました。

荒地を会員の有志で整備し、春は菜の花、夏は天然の川風や木漏れ日を浴びながら年中素晴らしい環境で、楽しく集える広場が会員の努力により完成しました。

設立当初は、心ないイタズラ等ありましたが、広場を綺麗に維持管理することで、今ではイタズラはなくなり、健全な校区社会づくりの一環として役に立っていると思います。

■ 今後の展望

今後は、運動や健康づくりだけの場だけではなく、文化的活動の場として今後も活用したいと思っています。(屋外紙芝居広場、太鼓演奏会、老人会などによる子どもたちの郷土玩具づくり体験会等)

クラブ情報

熊本市南区「日吉地域総合型スポーツクラブ」

設立年月日:平成13年10月14日

クラブ理念:地域住民に必要なとされるクラブになる

事務局:〒861-4101 熊本市南区近見5丁目1-1(日吉東小学校体育館内)

TEL:096-323-3160 FAX:096-355-3613

MAIL:hiyoshisc@gmail.com

facebook:https://www.facebook.com/日吉地域総合型スポーツ

クラブ-104168231033951/



中央エリア

NPO法人 桜木ふれあいスポーツクラブ ～子どもたちのためのスポーツ教室 元気いっぱい子どもたちを育むために～

インタビュー：クラブマネジャー 榎田 康代 氏

NPO法人桜木ふれあいスポーツクラブは、熊本市東区桜木エリアで活動しているクラブで、子どもから高齢者まで、総勢235人の会員（令和2年3月末日現在）で活動をしています。

県内で唯一、人工芝のグラウンド「桜木ふれスポパーク」をクラブで保有しており、様々な方に活用されております。熊本地震発生後も、この自前施設を活用した事業を数多く実施されました。

今回は、子どもたちのために開設されたスポーツ教室についてご紹介します。

■ スポーツ教室開設の背景

「小学校低学年、高学年でも運動に苦手意識がある子に、からだを動かす気持ち良さや楽しさを知ってもらいたい。」それがクラブの想いでした。

スタッフの中から、指導者資格の取得を考えていたところ、地域在住で子どものスポーツ指導をご職業としてされているコーチの方がたまたま事務局を訪ねてこられ、ナイスタイミングでスポーツ教室実施についてお話をいただきました。

小学校の教頭先生にクラブの想いを伝えたとこ、**「とても良い活動です。こんな指導を子どもたちにしたかったです。ぜひ教師にも見学させたい。参加料についても、活動の趣旨を理解いただければ通わせたいと思う保護者がいると思いますよ！」**とのお話を頂きました。

このような背景から、子どものスポーツ教室が6月から始まり、体験会に20人程集まり、8人が入会しました。再度、運動会前にチラシ配布を行いました。

■ 教室開設のときに心がけていること

クラブの理念や活動趣旨を御理解いただいた指導者やスタッフに協力いただいています。スタッフや指導者の確保ができなければ教室が開催できないため、スタッフの確保が課題です。

地域の方々に御協力いただきながら、会員の皆さんに楽しんでいただける教室展開をしていきたいと思っています。

■ 今後のクラブの展望

桜木校区のスポーツ人口が大人も子どもも減ってきているように感じます。

「スポーツは苦手」「運動しなければいけないのはわかってるんだけど…」という方をいかにクラブの活動に参加いただくようにしていくかが大事だと思っています。

魅力的なスポーツクラブを今後も引き続き目指し、頑張っていきたいです！



クラブPR

気軽にスポーツに参加出来るように、いつでも無料体験が出来ます。特に低学年の子どもはあまり早くから競技を決めず、色んなスポーツを試してもらいたいと思っております。現在9つの種目が活動中。大人向けにも誰でも参加しやすいストレッチ教室や、ウォーキングなどのアウトドアイベントも企画中です。皆さんも、桜木ふれスポの活動にぜひご参加ください。

クラブ情報

熊本市東区「NPO法人桜木ふれあいスポーツクラブ」

設立年月日：平成13年12月16日

クラブ理念：「青少年の健全育成」「住民の生涯スポーツの推進」「健康で明るく人に優しいまちづくり」

事務局：〒861-2101 熊本市東区桜木2-16-25

TEL:096-365-1338 FAX:096-365-1338

MAIL:sfsc@sakuragi-furesupo.or.jp

HP:www.sakuragi-furesupo.or.jp

県南エリア

NPO法人うとスポーツクラブ ～指定管理業務と学校との連携～

インタビュー：副理事長兼クラブマネジャー 兼田 裕明 氏

NPO法人うとスポーツクラブは、県南エリアで最初に設立されたクラブで、宇土市民体育館(ecowinうとアリーナ)をはじめとした複数のスポーツ施設の指定管理業務を行っているクラブです。

うとスポーツクラブでは、子どもから高齢者まで、総勢951人の会員（令和2年3月末日現在）で活動をしています。

クラブでは、小学校部活動の社会体育移行の受け皿としても新たな取組をはじめており、指定管理施設を含めた会場を活用しています。

■ 指定管理及び小学校運動部活動の社会体育移行の流れで始まった学校施設の管理について

社会体育施設の指定管理を仰せつかって13年目になります。この間、宇土市では平成29年4月から小学校運動部活動の社会体育移行が完全実施されました。社会体育移行検討委員会等、当クラブも中心的な存在として取り組ませていただきました。

そして、平成31年度（令和元年度）より、学校施設の社会体育利用の受付管理を行っています。

これは各学校が事務の煩雑さ等を避けたためと理解していますが、学校施設の利用が多い当クラブとしては、自分のところで受付ができるため、助かっています。

■ クラブが種目設定や事業実施において気を付けていること

当クラブの理念に叶うか、指導者が当クラブの指針を理解していることが第一。

人数等、経営として成り立つかどうかでも大事なことです。

■ 拠点施設があることの効果、よいこと

「クラブのことなら事務所で聞こう」ということが浸透しています。

イベントや教室の時間変更など、全て拠点施設（体育館）から発信しています。

拠点があるということは、安心感があります。

■ 今後の展望

令和2年9月1日、スポーツ庁から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」の文書を出されました。前々か



ら小学校に限らず中学校も、との話は出ていましたが、いよいよ本格的に動き出したようです。

当クラブでは既にこの動きを見越した種目も活動中ですが、本腰を入れてこの問題に取り組んでいこうと思っております。

■ クラブPR

当クラブでは、52のクラスがあります。全てではありませんが、同じ種目でも気軽に楽しむクラスとアスリートクラス(競技力向上を目指したクラス)等、会員のニーズに合ったプログラムを展開しています。



クラブ情報

宇土市「NPO法人うとスポーツクラブ」

設立年月日:平成13年4月23日

クラブ理念:スポーツ環境の提供 地域づくり交流 青少年健全育成 高齢化社会への対応 健康・体力づくりの充実

事務局:〒869-0432 宇土市旭町504

TEL:0964-23-3493 FAX:0964-23-5148

MAIL:info@uto-sc.jp HP:http://www.uto-sc.jp/

NPO法人 上天草スポーツクラブドリームズ ～スポーツを通じた健康作り～

インタビュー:健康体操教室、卓球教室、ミニバレー教室の会員

NPO法人上天草スポーツクラブドリームズは、平成15年10月1日に、県内5番目のクラブとして上天草市に設立されました。特色は、50歳以上の会員さんが全会員数の27%と多いことです。

子どもから高齢者まで、総勢504人の会員(令和2年3月末日現在)で活動をしています。

人気プログラムは、設立後まもなく開設されたスポーツを通じた健康増進を目的とする「不健康削りのススメ」です。現在、本プログラムには、健康体操、ミニバレーボール、卓球、グラウンドゴルフの4教室が設定され、多くのシニアの方々が元気いっぱい活動されています。中には、複数教室に参加されている方もおられ、日々の生活に欠かすことができない楽しみの一つになっているそうです。

今回は、健康体操教室、卓球教室、ミニバレー教室で活動されている方のお声をお届けします。

■ 入会の動機

会員の声としては、健康維持・体調管理、ストレス解消、退職後の運動不足解消や体力増強といった健康面を考慮しての動機もあれば、活動されている方の口コミ、クラブ通信を見て、友達や知人の楽しそうな活動ぶりを見て入会を決めたという

方もいます。

■ 継続年数(入会前も含めて)

入会間もない方から2か月、5年、10年、20年、50年以上とかなりの幅がありますが、経験年数に関係なくそれぞれの個性、レディネスに応じて楽しめているそうです。

■ 長続きの理由

会員の声:「活動が楽しい」「仲間が増えて会話も楽しい」といった声や、「指導者のおかげで上達している」という達成感を感じている会員も多いようです。

また、「生活リズムが一定する」「体調がよく健康を実感できている」「病院通いがなくなった」という健康面への良い影響も感じている方が多く、楽しく健康づくりをされていることが伺えます。

■ 活動の成果

会員の声:参加者には「体調がよい」「体重が減少した」「熟睡できる」といった効果もあり、さらに、「体力が付き、他の教室にも参加できるようになった」「活動を継続できているので健康で食欲旺盛となった」「老化に負けない身体づくりができる」といった変化が見られたり、友達・仲間が増えたり、他の趣味も増えたりといった「不健康削りのススメ」による豊かな生活の実現化が図られているようです。笑うことで精神的にも楽しめたり、リラックスできるという声もあり、活動日を楽しみにしている方々ばかりであることが伺えます。



■ 健康面への影響

会員の声:「医療費が全くいらない」「風邪をひかなくなった」「筋肉の強化」「血圧の安定」「健康診断の結果がよかった」という声があり、日常的に定期活動に参加されることで確実に健康面への良い影響が出ているようです。

■ 今後の目標

会員の声:運動することの素晴らしさが自分の体でよくわかり、今後も末永く動ける間は足を運びたい。

休まずに長く続けたい。みんなと1年でも長くできるようにしたい。健康のために続けたい。

■ クラブPR

「百年先の君たちへの贈り物 今できることから創めよう」というスローガンのもと、子どもたちから高齢者まで幅広い年齢層で各年代や目的に応じた参加しやすいプログラムや大会を実施しています。また、スポーツ活動の他に、「夏祭り」や「どんどや」など地域住民との交流を図りながら、季節行事を通して、地域の活性化へも取り組んでいます。

クラブ情報

上天草市「NPO法人上天草スポーツクラブドリームズ」

設立年月日:平成14年10月1日

クラブ理念:百年先の君たちへの贈り物 今できることから創めよう

事務局:〒869-3603 上天草市大矢野町中2289(大矢野スポーツ公園総合体育館内)

TEL:0964-56-4701 FAX:0964-56-4702

MAIL:kamiamakusa-dreams@voice.ocn.ne.jp

HP:http://amadreams.starfree.jp/

運動遊びを通して体力づくり！運動好きな子どもたちを育てよう！

幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム



? アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)って??

子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かせるそれがアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)です。日本スポーツ協会は、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムとして、アクティブ・チャイルド・プログラムを開発しました。

子どもの体力・身体活動の現状やからだを動かすことの重要性

からだをうごかすのはたのしいよ！



みんなであそんで
元気アップ！

遊びプログラムの具体例として運動遊びや伝承遊び

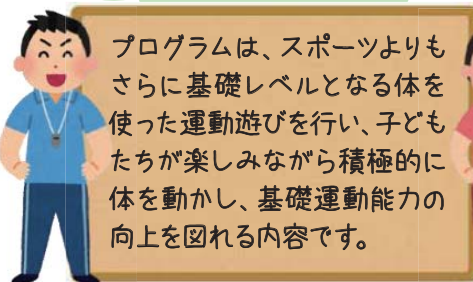
たのしいプログラムがいっぱい！



多様な動きを身につけることの重要性や動きの質のとらえ方



からだをうごかして遊んでいれば動きも上手になる！



プログラムは、スポーツよりもさらに基礎レベルとなる体を使った運動遊びを行い、子どもたちが楽しみながら積極的に体を動かし、基礎運動能力の向上を図れる内容です。

身体活動の習慣化を促すアプローチとして、ポイントや実践例

励まし合い助け合う仲間がいる！



アクティブ・チャイルド・プログラムについての詳細は
日本スポーツ協会<JSPO>公式サイト

<https://www.japan-sports.or.jp>



昨年度の本県普及促進研修会の様子

日本スポーツ協会では、研修会・講師講習会・講師講習会受講修了者ブラッシュアップセミナー等の指導者育成も行われています。なお本県では、12月期に普及促進研修会を開催予定としております。興味のある方は、熊本県スポーツ協会ウェブサイトの【お知らせ】欄をチェックしてください。



今年度も、県内の総合型地域スポーツクラブや学校のクラブ等に講師を派遣し、運動あそび促進事業・ACP普及事業を実施しています。詳細は県スポーツ協会ウェブサイトにも掲載しています。



実施日: 9月30日 (水) 15:00~16:00
実施申請団体: 阿蘇市教育委員会
会場: 一の宮小学校まどか学童クラブ
派遣講師: 西田 良活



実施日: 10月6日 (火) 15:30~16:45
実施申請団体: いきいきジュニアクラブ
会場: 五木村立五木東小学校体育館
派遣講師: 中尾 雄一



実施日: 10月5日 (月) 16:00~17:00
実施申請団体: NPO法人A-lifeなんかん
会場: なごみ学童クラブ運動場 (菊水中央小学校)
派遣講師: 小川 正希



実施日: 10月7日 (水) 17:00~18:30
実施申請団体: 田迎スポーツクラブ
会場: 熊本市立田迎小学校運動場
派遣講師: 松崎 貴美子

実施日: 10月12日 (月) 10:00~11:00
実施申請団体: NPO法人A-lifeなんかん
会場: なごみ学童クラブ運動場 (菊水中央小学校)
派遣講師: 齋藤 久允



実施日: 10月19日 (月) 16:00~17:00
実施申請団体: NPO法人A-lifeなんかん
会場: 南関町立南関第一小学校・学童クラブ
派遣講師: 松崎 貴美子



実施日: 10月15日 (木)
 ①14:05~14:50・②15:10~15:55
実施申請団体: 熊本市立奥古閑小学校
会場: 奥古閑小学校体育館
派遣講師: 立山 明佐子

100円募金のお願い

本会は、「スポーツが持つ限りない力を最大限に生かし、明るく豊かで健康的な活力ある熊本づくり」を目指し、加盟団体や関係機関と連携しながら、スポーツの社会的な役割を果たすべく、本県のスポーツ振興に寄与する活動を行っております。

本会と本会に加盟する72団体は協同で、自助努力に努めながらスポーツに親しむことができる環境の整備を行う『地域スポーツの振興』、県民に夢や希望を与えることができるトップアスリートの養成を行う『競技力の向上』、心身ともに健やかな子どもの育成に努める『スポーツによる青少年の健全育成』の各事業に精力的に取り組んでいます。

引き続き、スポーツに対する安定した財政基盤を確保し、スポーツ文化の向上とスポーツの社会的な貢献を果たしていくため、「100円募金活動」を通じて、広く県民の皆様にはスポーツに対する御理解と御支援をいただきながら、本県スポーツの更なる発展のため力を注いで参ります。

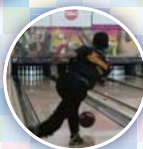
何卒、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



誰もが親しめるスポーツ環境の充実

100円募金

ご協力よろしくお願いします



公益財団法人 熊本県スポーツ協会

<http://kumamoto-sports.or.jp/>

〒861-8012 熊本市東区平山町2776 県民総合運動公園陸上競技場内
TEL 096-388-1581 FAX 096-388-1584 E-mail main@kumamoto-sports.or.jp





仲間と一緒に
楽しく

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険[®]

4名以上の団体・グループで
ご加入ください

文化活動、レクリエーション、ボランティア、地域活動などでもご加入できます



傷害保険



賠償責任保険



突然死葬祭費用保険

対象となる事故

団体・グループでの活動中の事故／往復中の事故

保険期間

2020年4月1日午前0時から2021年3月31日午後12時まで（申込受付は2020年3月から）

掛金

掛金（1人年額800円～1,850円）は、活動内容・年齢によってご選択いただく加入区分ごとに異なります
ただし、危険度の高いスポーツを補償する区分は11,000円

補償内容

傷害補償は、死亡2,000万円、後遺障害3,000万円を最高に、活動内容・年齢によって異なります
詳しくは、ホームページなどをご覧ください



公益財団法人 スポーツ安全協会 熊本県支部

（熊本県体育協会内）

〒861-8012 熊本市東区平山町2776
県民総合運動公園 陸上競技場

TEL 096-213-9015 電話受付時間 午前8時30分～午後5時（土、日、祝日を除く。）



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険）、賠償責任保険（スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約（学校管理下外担保）付帯普通傷害保険賠償責任担保条項））の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346（平日9:00～17:00）

〈共同引受保険会社（2020年4月予定）〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災
損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 三井住友海上 AIG損保

スポーツの力で明るく豊かで 健康的な活力ある熊本づくり



©2010 熊本県くまモンK32837

熊本県スポーツ協会 免税募金協賛企業・団体



肥後銀行従業員組合、肥後銀行 役職員一同、(株)緒方建設、(株)緒方生コン、(有)緒方建材、(有)瀬戸口孵化場、(株)九建ホーム、(株)電通九州熊本支社、(株)コカ・コーラボターズジャパン(株)、(株)親光開発、あつまるレークカントリークラブ、あつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部、熊本学園大学、(株)熊本リビング新聞社、(株)アネシス、熊本日産自動車(株)、熊本県グラウンド・ゴルフ協会、清水電気工業(株)、朝日野総合病院、(一社)熊本県優良住宅協会、(一社)熊本県造園建設業協会、(一財)熊本公徳会、(一社)熊本都市建設業協会、(有)植翠園、(株)熊本銀行 従業員組合、(株)ルミナスホーム、(株)大豊、(株)緑研、(株)森田緑化造園、(株)いづの造園、(株)マイステディア、(株)エフエム熊本、(株)熊日広告社、(株)清永水蔵商店、(株)杉養蜂園、(株)KIS、(株)熊本ホテルキャッスル、(株)JTB熊本支店、(株)リフティングブレーン、(株)熊日会館、(株)TKUヒューマン、(株)肥後銀コンピュータサービス、(株)百花園、(株)友和会、(株)エコポート九州、(株)ヨネザワ、(株)肥後ビジネス教育、アサヒビール(株)熊本支社、(株)原田木材、(株)木上梅香園、(株)大海水産、(株)熊日都市販売、(株)肥後商事、(株)肥後カード、(株)西日本電工、(株)肥後銀リース、(株)宝興業、(株)らくのうマザーズ、熊本県住宅メーカー協議会、熊本日日新聞販売店協同組合、JTB協定旅館ホテル連盟熊本支部、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県果実農業協同組合連合会

[表記のほかに個人36件と企業・団体の5万円未満76件の協賛をいただいております。]



公益財団法人

熊本県スポーツ協会

TEL 096-388-1581 FAX 096-388-1584

〒861-8012 熊本市東区平山町2776 県民総合運動公園陸上競技場内

URL <http://kumamoto-sports.or.jp> E-MAIL main@kumamoto-sports.or.jp